

五行説と風土工学美の追求

伊勢流五行のルーツを訪ねる

——治水の神・禹王は亀甲から何を学んだのか——

竹林征三

はじめに

伊勢流 5 行は何故こうも的中するのか？不思議だ！真理があるに違いない。五行の創始者は禹である。風土工学が追い求めている技術は禹の治水だ！一方は非科学的だという、一方は科学という。

- 陰陽五行の創始者 禹王・・・伊勢流五行・・・占術
五行思想の思い・・・幸い・「真善美」
治水神 禹王・・・風土工学・環境防災学の祖・・・科学
○禹王の師・・・伏羲 女媧・・・曲尺・コンパス。…八卦
- 風土工学追求してきたこと・・・風土の美学「用強美」とアイデンティティ
人間の美学・・・真善美
工学の美学・・・用強美
・誇りうる地域づくり・どこにもない・ローカルアイデンティティの構造
・幸せとは・豊かさとは・美とは
- 禹王が五行を発見したきっかけは・・・亀の甲羅・柱状節理・トンボの複眼・ミツバチの巣・雪の結晶 六角形・HEXAGON の美学
- 美の法則・平面の美学○分割・プロポーションの美学・・・黄金分割・白銀分割・青銅分割・日本間・・・ A 版/B 版 それらの上位の共通するものは何か・・・無駄をつくらない
○バランス・リズムの美学・・・水平基調・垂直基調・
○コンポジション・構成・構図の美学・・・金剛界曼荼羅の世界・放射・集中基調。
胎蔵界曼荼羅の世界（格子基調）。文様の世界。家紋の世界
級数展開 Progression・・・Alternation（交互配置）
Gradiation（濃淡・諧調・漸次移行）
- 立体の美学 最小表面積で最大容量の追求 ガスタンク・石油タンク
円柱・・・球体 巻貝の美学
○正四面体・正六面体・正立方体・サッカーボール
- 数字五の不思議 フィボナッチ数列・オウムガイの螺旋 五芒星・五角

形・PENTAGON・魔術の数字

・オイラーの定理・プラトンの立体正多面体 5 種・アルキメデスの立体半正多面体 13 種・

○五 Element・木火土金水・五芒星は阿倍清明・陰陽道では魔除けの呪符

●西洋の美学・・左右対称

●日本の美学・・左右非対称・左右対称から微妙にずれる。奥が深い

・僅かにずれる。人体の心臓・右利き、左利き

●美の構成原理 ユニティの統一原理

・美の演出 3 定理・ハーモニーの美・コントラストの美・アイデンティティの美

○美の五要素・シンメトリー・プロポーション・バランス・リズム・コンポジション

○風土工学・六大風土・「かたち」「いろ」「命名」の心

風土工学とは・・風土工学作品・・・鳴鹿大堰・日本水大賞

●空海の六大・地水火風空・識（意識と無意識）

○密教の五輪塔と曼荼羅の世界

地：確固として動かない事

水：柔軟性・変化への対応

火：力強さ・情熱・動機・欲求

風：成長・拡大・自由

空：あるがまま・すべてを包み込む

科学とは・技術とは。・・・科学の弱点（もろさ）・技術の怪しさ

●科学の弱点。①全体が見えない。・壺學の世界②はざま間が見えない。・学際が苦手③裏表が苦手・④入れ子構造が苦手

●技術に潜む怪しさ。錬金術、魔術。妖術。腹話術。・求められる道・知敬馴道

禹王から伊勢五行までの系譜

伏羲・女媧そして禹王・「易経」八卦・2 進法の世界

定規とコンパス。2 進法の発明・・コンピューターの始祖・大変な科学者

禹が伏羲と女媧から学んだこと

○定規とコンパス・・・正確な測量技術

○八卦・・乾（けん）坤（こん）震（しん）巽（そん）坎（かん）離（り）艮（こん）兌（だ）

○『易経』中国の古典・心理学・暦学・神託など中国古典の包括教典。起源は恐らく紀元前 8 世紀までさかのぼるのではないか？

八卦が基本とし、陰陽を表わす 3 本の筮（ぜい・うらない）の組み合わせで作られている。この八卦を縦横組み合わせると六十四卦となる。

○ライプニッツ・数学者・科学者・哲学者・が1679年の論文Progression Dyadicのなかで2進法を最初に提案したことになっているが、『易教』の存在を知った事からだという。禹王

1. はじめに・導入

伊勢瑞祥さんの五行の占いは非常によく当たる。不思議である。一方私の風土工学は治水神・禹王の知恵を学びたい。

五行の始祖は禹王である。何か共通するものがあるのではないか？

今日は伊勢流の会員の研究会なので、このテーマを考えてみたい。

サブタイトルとして治水の神・禹王は亀甲から五行を思いついたという。

① 謎を解くカギは数字の5と6にあるのではないか？

② 風土工学は真善美と用強美を追い求めるものである。その共通する概念は美である。美とは何か？

③ 古代から多くの先賢が美を追求してきた。しかし美の定理にたどり着いていない。美には法則・定理があるに違いない。

④ 西洋人と日本人の美の意識が違うようである。

⑤ 私の風土工学はあくまでも科学に根ざしたい。科学技術とはいったい何なのだろうか。

⑥ 禹王は伏羲と女媧から学んだという。

2. 伊勢流五行と風土工学の対比

①その両方とも始祖は禹王で同じである。

②伊勢流五行の考案者は伊勢瑞祥さんである。風土工学は私。竹林征三である。

伊勢流五行のルーツを訪ねる 治水の神・禹王は亀甲から何を学んだのか

伊勢流五行と風土工学

- 謎を解くカギは数字の5と6にある
- 真善美と用強美を追い求めて。美とは何か
- 美には定理がある。美の法則と5要素
- 西洋の美と日本の美
- 科学技術とは・科学の無能と技術の怪しさ
- 伏羲と女媧の物語

工学博士・竹林征三

	伊勢流五行	風土工学
始祖	五行の祖——禹——治水の神	
考案者	伊勢瑞祥	竹林征三
教典	易経・八卦・占術	仏教・美学・
数字	2	陰陽学
	5	五行
	6	亀甲
	10	十干十二支・暦
歴史	禹から4千年 伊勢流・〇〇年	禹から4千年 構築後23年
後継者	師範多く育つ	なかなか育たない
普遍性	的中率高い・普遍性	猫に小判
科学性・ 度合	非科学ではなく科学性高い	

- ③それぞれ経典がある。五行の経典は易経・八卦・占術である。風土工学で重要な概念は仏教と美学である。
- ④共に重要な数字がある。2. 5. 6. 10の4つ数字である。
- ⑤歴史は共に禹王から始まるので4千年である。
- ⑥伊勢流は師範を多く育てておられる。風土工学はなかなか育たない・
- ⑦伊勢流は的中率が高い、普遍性があるのでは、風土工学も普遍性があるが猫に小判で分かるものにしか分らない。
- ⑧私は共に普遍性があり科学性が高いのではと考えて居る。

3. 禹王は亀の甲羅から悟ったという。

都洛陽の南を通して黄河に注ぐ長さ 420 kmの河川で洛河ともいう。洛水から這い上がってきた一匹の亀の甲羅からヒントを得たという。

甲羅に書かれた紋様・洛書から五という数字を悟り国を治める五つの基本原理を思いついた。という。洛書とは洛水の中から出現した神秘的な図で、天地の理法を象徴しているという。ということなのだろうか。

亀の甲羅には背中中の模様と腹部の模様がある。

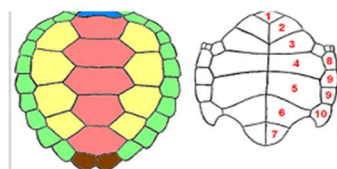
背中中の甲羅には頂甲板が横に2つ。推甲板が縦に5つ。肋甲板が左右に4つずつ。8つ。縁甲板が左右に2列。10つつ並んでいる。

腹甲羅には

1. 間喉甲板
2. 喉甲板
3. 肩甲板
4. 胸甲板
5. 腹甲板
6. 股甲板
7. 肛甲板・この甲板の間にある切れ込みで雌雄が判別できる。
8. 腋下甲板
9. 下縁甲板
10. 鼠蹊甲板

禹王が作った五行説

洛水から這いあげてきた一匹の亀の甲羅がヒント
甲羅に書かれた文様(洛書)から五という数を悟り、国を治める五つの基本原理を思いついた。



背甲 (左図)	腹甲 (右図)
項甲板	1 間喉甲板
椎甲板	2 喉甲板
肋甲板	3 肩甲板
縁甲板	4 胸甲板
臀甲板	5 腹甲板
	6 股甲板
	7 肛甲板
	8 腋下甲板
	9 下縁甲板 (2x)

●亀甲で神様が一番知恵を出したところは半球上の背甲をどのような甲羅で守ればよいか？隙間・弱点を無くすには六角形と5角形で甲羅を配置することで。なお、腹甲部は平状なのでどのような形にもできる。

4. 亀甲から八卦配当図・魔法陣

八卦配当を読む解く

亀甲は八卦配当図になっているという。

真ん中が五で東西南北が奇数即ち。一、三、七、九だという。

4隅が偶数即ち、二、四、六、八だという。

いろいろ亀甲を縦横斜めから見たがなかなか読み解けない。難題だ禹王に聞いてみないと分からない。それでは面白くもないので強引に類推してみた。恐らく間違いだろうと思いますが。

亀甲の最大の模様は背甲の真ん中に並んだ椎甲板である。六角形が縦に五つ並んでいる。従って、配当図の真ん中は五である。東西南北は腹甲の一番上は間喉甲板で三角形が一つである。そして縦に一番下が肛甲板で七である。

そして肩甲板までが三つである。下縁甲板が左右で九つである。

四隅は奇数で二、四、六、八。二は項甲板も臂甲板も二である。そして肋甲板は左右に四つである。

椎甲板は六角形である。そして肋甲板の左右で計。八つである。

八卦配当図・魔法陣

八卦配当図・魔法陣

神亀の背中に1～9の数字が神紋を成しているではないか？

奇数は東西南北に

配し、偶数は4隅に配当している。

四	九	二
三	五	七
八	一	六

神亀の背に1～9までの数が神紋を成していた。
奇数が東西南北・偶数が4隅に配当していた。

5. 正五角形の簡単な作図法

大学の工学部に入学すれば一年入れば図学というものが必須であった。

今の計算機・パソコンの時代なら考えられない。

製図版と製図用品（烏口とコンパス等）を購入させられた。入学時、壺番の出費はこの経費であった。

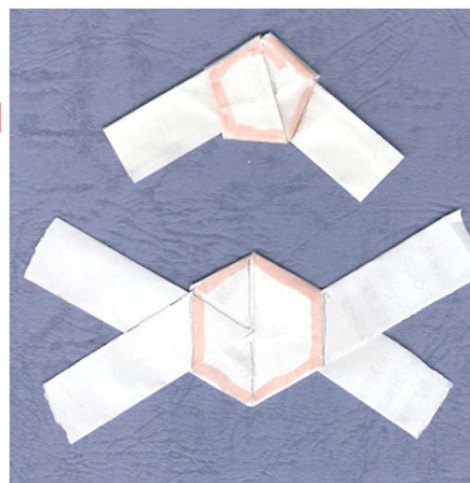
図学で正六角形は簡単だが正五角形を定規とコンパスで描くのは実に難しい。

しかし紙テープの折り紙でいとも簡単に
作図することが可能だ。

正 5 角形は実に不思議な謎が秘められているように感じる。

正多角形の作図

○正6角形の作図は
定規とコンパスで
簡単に書ける。
○正5角形の作図は
定規とコンパスで
非常に難しい、
大学の図学演習
しかし紙テープで
簡単に作れる、



6. 木火土金水と陰陽五行説

水・火・土・金・水

水・土地を潤し、穀物を養い、集まって川となり、流れ下って海に入り、鹹【しお】となる。【潤下】

火・上に燃え上がり焦げて苦くなる。【炎上】

木・真直ぐな大木もあり、曲がった蔓草もあり、その果実は酸っぱい 【曲直】

金・熟して形を変え、刀や鍬となり、味は辛い。【從革】

土・種を実らせ、其の実甘い。【稼穡】

陰陽五行説

- ・ 天地を始め、混沌とした中で、明るく軽い気が陽の気をつくり火となる。
- ・ 暗く重い気は陰の気をつくり水となる。
- ・ 天上では火は太陽となり、水は月となりこれらが組み合わされて五つの惑星となる。
- ・ 地上では火と水から五元素が出来る。木火土金水から万物が出来る。それが消長し、結び合いグルグル循環することによってあらゆる現象が起こる。陰陽と五つの数とを組み合わせた考えである。

7. 易とは自然の理学・発見者が伏羲

「易」とは六義よりなる。変・不変・簡・象・数・理

・ 変・不変・簡は規則

- ・象・数・理は宇宙原理を認識する為の方法
- ・宇宙変転の理を説く
- ・宇宙・森羅万象は一瞬の間も止まることなく輪廻している。
- ・変転極まりない実相の中に永久不変の理を見る

宇宙の統一原理の発見者が伏羲

- ・その諸現象への適応・実践者が禹である

四書五経

四書・論語・孔子と高弟との言行

- ・大学・朱子学・自己修養
- ・中庸・子思の作
- ・孟子・孟子の逸話・問答

○五経・易経・伏羲による森羅万象の変化法則

- ・書経・歴史書・堯・舜から夏・殷・周王まで
- ・詩経・中国最古の詩編・孔子の編著
- ・礼経・礼に関する諸文献
- ・春秋・春秋時代の歴史書

8. 太極と陰陽二元

易は相対的な現象を陽と陰の二元として捉え陽を 陰を一一の記号で表現する。

原初の唯一絶対の存在を「混沌」を易では太極とし。

宇宙間の万物は一瞬の間も千変萬化する。その中に一定の秩序があつて、それをはみ出すものはない。

この原理は陰陽2個の記号を用いて作図することができる。

コンピューターの原理である。計算機の発明者は伏羲である。

「乾（天）は易を以てつかさどり。坤（地）は簡を以て能くす。易なれば知り易く、簡なれば従い易し。易簡にして天下の理、得る」

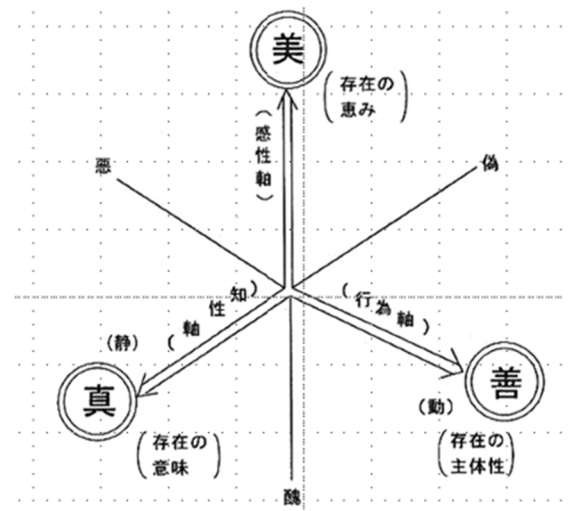
9. 真善美の構造

有徳の士が求めて止まない生きざまは真善美である。

真の反対は偽であり、知性軸である。

善の反対は悪であり、行為軸である。

美の反対は醜であり、感性軸である。



10. 美とは何かを追求したい。漢字による類似の概念

私は物事の真実を究めようとする時、その概念の意味が重要であると考えて居る。

漢字は一字一字が象形文字で物語がある。その物語を尋ねることにしよう。美に関係しそうな漢字を一つ一つ調べてみよう。白川静先生の字統。字訓、字通の3部作は手元から離せない。

① 幸せとは②美とは③義とは④美人とは⑤かわいいとは⑥うつくしいとは⑦英語の BEAUTY とは⑧汚い人と醜い人を考えれば良くわかる。

●幸（さきはひ）とは。（大和言葉）

○“さき・はひ”

「さきはひ」（四段活用 of 動詞）豊かに栄えること。其の名詞が「さきはひ」。其の副詞が「さきく」しあわせである k とをいう。

○“さき”とは「咲く」「栄ゆ」「盛り」と同根の言葉。

○“ま幸く”旅に出る時等に「ま幸く」なるように無事を祈る時に用いた。

●「幸」とは

夭と𠂔の会意文字。夭死を免れる義を示し、以て凶を免れて吉となる意を示す。転じてネガウ意。

○天子のミユキを幸という。

天子、外に出れば、車駕の止ませうるる地方の人民にべつ見仰付けられ、食帛を賜ひ旧租を免ぜられ爵禄を与えられらることあるより起これり。



(小篆)



(大篆)

●善とは

善は「羊」と二つの「言」の会意文字である。

羊は神判に用いる神羊である。二つの言は原告と被告であって神羊の前で審判を受けて善悪をつけてもらうことをいう。

善とは神羊を中心に原告と被告が宣誓している裁判用語である。

後に全て神意に叶うものを善というようになった。神意に叶わないものを悪と

いう。

●義とは

○義は羊と我との会意文字。

○我は鋸（のこぎり）の象徴

○羊に鋸を加えて犠牲とする意味である



犠牲として欠陥が無く、神意に叶うものとして「義しい」の意が生まれる。

●美とは

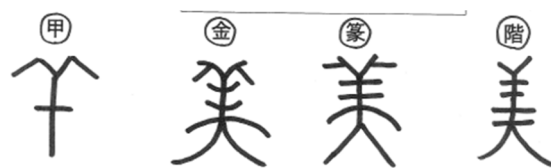
美は羊と大の会意文字である。形の良い大きな羊を表わす。

義、善、祥などは全てに羊を含むのは、古く中国では羊を最も大切な家畜としていた。神に供薦すべきもの。



●美とは？

○まるまる太った羊は神のいけにえとした。神が最も喜ぶもの。「美行」立派な行い。「美声」良い評判。「美論」内容の優れた立派な議論。



- ① うつくしい。見た目が細やかでかっこが良い。見目好い。対は悪・醜(見つともない)
- ② よい。物事が良い感じである。美風。うまい。味が良い。美味
- ③ ほめる。良いと認める。対は憎む(悪)
- ④ 微妙なうつくしさ。美しい事。

●美人とは？

- ①顔形のうつくしい女。②顔かたちが美しい男・美男子。③君主の事。④才徳の優れた人。⑤漢代の女官の身分の一つ。位は二千石に準ずる。⑥虹の別名。⑦梅の別名。

●「かわいい」とは

○「かわゆいともいう。①小さくて愛らしい。②深い愛情を覚える。英語 **Pretty/Darling**

○「顔映(かおは)ゆし」でカホハユシ→カハユイ→カワイイとかわる。

顔がほてるような対象にも心が強く惹かれる。気持ちを表現している。**可愛い**

○「可哀想」(かわいそう)の意であった。転じて、恥ずかしいとか愛らしさを覚える意となった。**可哀い**

●「うつくしい」とは——**本来の意は「威厳」と「かわいい」である。**——

「美しい」とは学問として「美学」が存在するように、多面的で奥深い概念である。

本来は気品あふれる靈妙で威嚴のある存在を「嚴く」という。

威嚴のある形容詞が「嚴くし」であり、イとウの母音が変わって「うつくし」が生まれた。

幼く小さいものをいつくしむ感情を他のものにも及ぼして言う。

「いつくしぶ」「うつくしむ」は動詞「うつくしび」「うつくしみ」は名詞形である。

漢字で・「嚴」(うつくしみ) <落葉集>

・可愛(うつくし) <易節用集>

・妖艶(うつくし) <西鶴>

等いろいろな字があてられた。近代になり、「美」に統一された。

これから分かるように、古くはカワイイ、イトシイの意であったが時代とともに変わっていき、内面的にも外面的にも全てにおいて人に崇高させ、ゆとりを持たせ、好意をもって受け入れる。均整の取れている状態である。

他の辞書も調べてみる

●「美しい」とは

○上代では、夫が妻子に対して抱くようないつくしみの感情を示す語。

○中古になって小さなものの好ましさをいう語。

○中世以降「きれいな」の意になった。

○イツクシ(厳し)の母音交替型。「莊嚴である」「粗末にできない」

また語源辞典には面白い語源説がいくつも出ていた。

●「美しい」の語源

1. ウツクシムトはイツクシムべきであることをいう。

2. ウツは珍。クシは奇。珍奇

3. ウツは全。クシは奇。完精の義から生じた。

4. ウツは現。クシは奇。現奇

5. イチクシ。逸奇の転。イツクシビ(稜威靈)の義

6. ウツクシ(心着)の義

7. ウはエミ(恵美)の約。ツはタル(多留)の約。

8. 美しい人を見れば心がウツラウツラとなるから。

9. うつくし(憂)。幼く小さなものをいつくしむ感情を他のものに及ぼしていう。「うつくしみ」(名詞)。類義語「うるはし」は端正

●然らば英語の語源辞典を調べてみた

・beau・・1684年　しやれ男

1229～1513　呼びかけ、人名・地名などに付ける。Good　Fair

Dear

Beautician 1924 美容師、美容院の経営者

Beauty Spot 1657 付けぼくろ

1682 名勝地

Beauty Waning Wan は青ざめた、病弱な

英語の概念は即物的で深みがない

●美しいの反対語は醜い手ある。人に当てはめれば良くわかる

「汚い人・醜い人」

○人や社会を欺く人。いつわる人。

○傍（はた）を楽にする行為がハタラク（働く）。働かずして給料を得る行為

○実力がないのに、空威張りをする人、

○人を害する人。殺人。盗人。

◎リーダーの大罪・自己保身の決断

・腐った魚は目を見れば分かる。

・腐った組織はトップを見れば分かる。トップの保身

・清貧なリーダーと蓄財

のリーダー

○科学の敗北という地震学者」

○除染基準・避難基準。

●象形文字「美」と「醜」

○美とは肥えた大きな羊。・神に供えたもの。・神の悦び

○醜とは・憎むべきなり。・人鬼なり。・「ここに雨降らざるは、茲の色に襲う（たたり）あるか、醜することあるか・その襲を祓うための儀礼をおこなう。



11. 汚い人・醜い人・美醜の構造

2,020 年は武漢ウイルスの世界大パンデミックとなり、

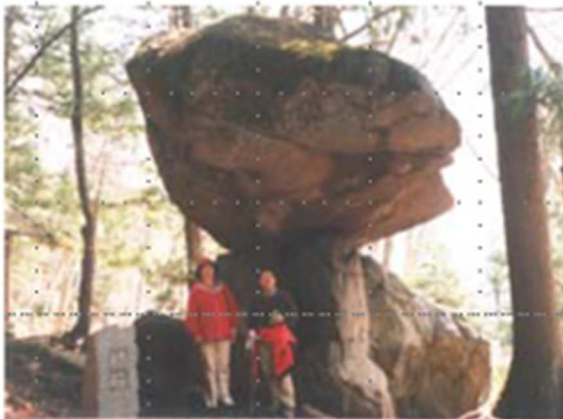
中共の習近平や米国のトランプ、日本の安倍など

いろいろなリーダの生きざまの美醜の構造が如実に現れて来た。

・自国民を大虐殺をして、世界中を騙し続ける国家リーダー。

・何十年だまし続けられてきたこと、その結果、大変なことになることにより
やく気づき、世界の自由の平和のためにそれに果敢に立ち上がった国家リーダ
ー・大国の間でえ二股外交で踏み絵を踏まされる段で窮地に追い込まれたリー
ダー。

明治三陸津波(1896)「捏造津波石」



① 昔から遠野の山中にあつて今も観光の名所になっている伝説の「綾石」。古代人の墓とも、武蔵坊弁慶が持ち上げて作ったものとも云われている。

山下文男『明治三陸津波(1896)に関する「捏造津波石」問題始末』より
http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/rzisin/kaishi_18.html



② 明治29(1896)年7月15日付
 『東京朝日新聞』付録に掲載の写真。
 (説明文)。

「唐丹村は百六十余戸全部流失最も惨禍を究む退潮後見れば同所海岸に巨石を持ち上げ右の上に石を累ねて最奇観なり以つて如何に潮勢いの猛烈なりしかを想見すべし」

●現地調査をすれば直ぐにバレる虚偽報道を堂々と写真入りで東京で報道する日本のきやだいマスコミの体質を疑う。

・建設省から参議院議員になった方が三大紙が同じ内容を掲載すれば、それが正しいといっていた。記者クラブで毎日談合している。

●巨大マスコミの捏造記事は日本をどれだけ貶めて来たか。

新聞の捏造記事

- 明治三陸大津波による「津波石」実は「続石」
- 沖縄サンゴ損傷捏造 1989
- 南京虐殺・元上等兵の日記捏造 1984
- 行方不明の共産党幹部伊藤律とのインタビュー捏造 1950
- 北朝鮮地上の楽園報道
- 中国文化大革命礼賛
- ポルポト政権礼賛
- 靖国参拝政治問題化推進
- 長良川河口堰・ダムも堰もない長良川を守れ！
- ダムはムダ。ダムは環境破壊だ！！

美・醜の構造・メカニズム

	美	醜
視覚 (光の波動)	○いくつかの光の波動の重ね合わせ ○光の波動の調和と共鳴	○光の波動の秩序のない混在(雑色)(雑然)
聴覚 (音の波動)	○音の波動の調和と共鳴 音色のしるべ、音楽	○音の波動の秩序なき混在、重ね合わせ(雑音)
香覚・味覚・触覚 (各種・電磁気・熱的波動)	○各種の波動の調和と共鳴 ○心地よさ 美の形成	○各種の波動の秩序なき混在、重ね合わせ ○不快感。雑然、醜の形成
意覚 全ての波動	○全ての波動の調和と共鳴 ○秩序ある社会・ユニティ・美の形成	○全ての波動の秩序なき混在、重ね合わせ ○無秩序な社会の形成

・美と非常に関係の深い愛の概念を見ておきたい。

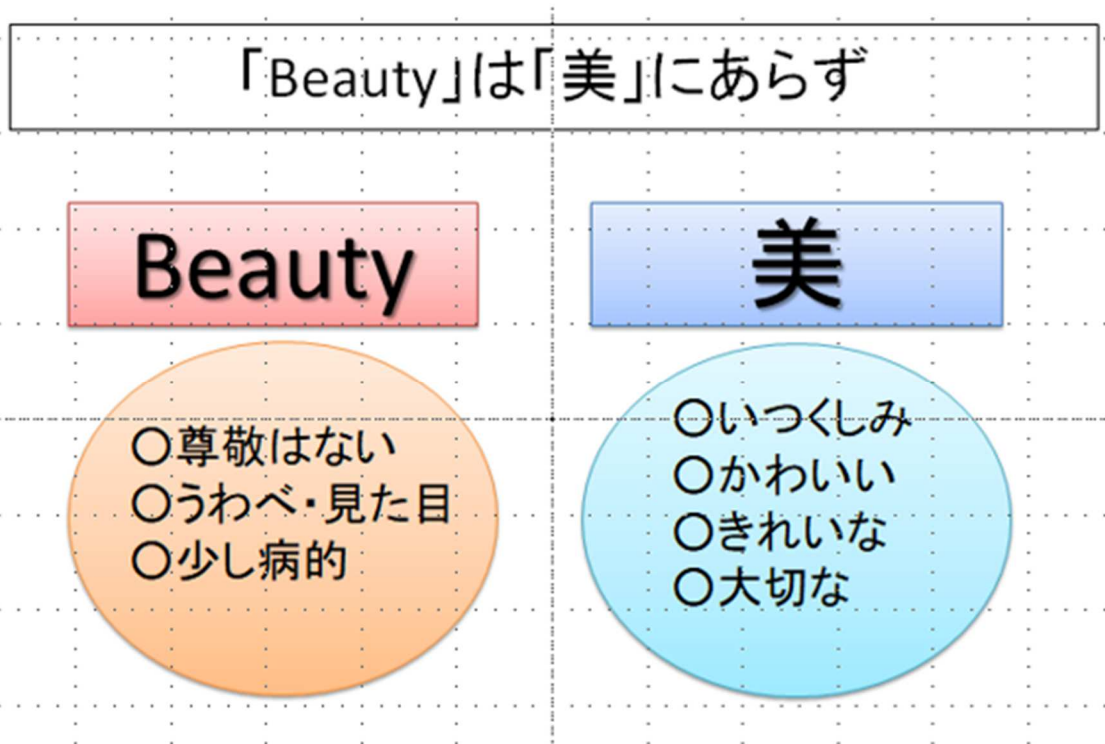
●象形文字「愛」とは



○「愛」とは後方を顧みて立つ人の形である。 愛(あい)

と心の会意文字。心をその胸のうちに加えた形

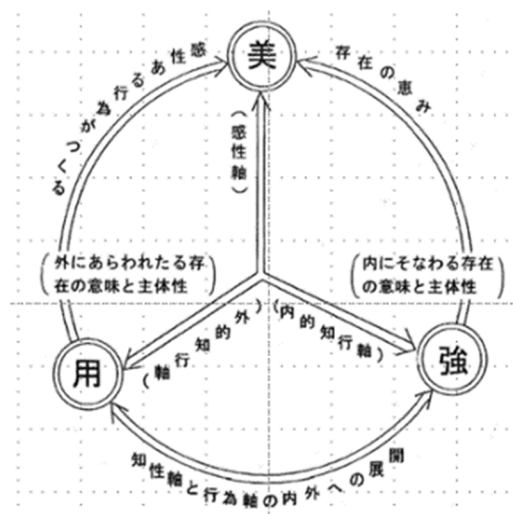
○後ろに心を残しながら、立ち去ろうとする人の姿を写したもの。後ろに心惹かれる心情。



●日本語の概念と英語の概念は全く違うことをよく理解してほしい。

12. ものづくり・用強美

有徳の士が追い求めたのは真善美であるが
風土工学が求めているのはモノづくりであり用強美である。



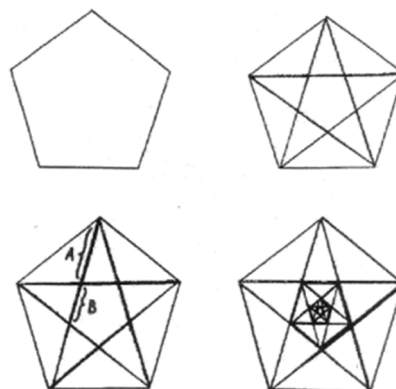
13. 正五角形の不思議

五には不思議な力がある。正 5 角形のお不思議を考えよう。

五角形の対角線を引けば五芒星になる。

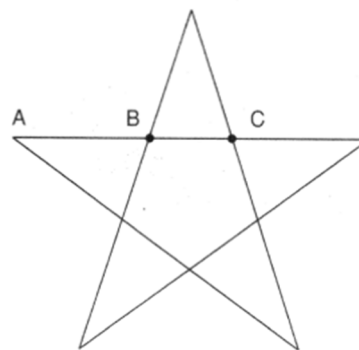
五芒星が優れた魔除けの理由 星の輝きから五芒星は、5 つの角がある星という意味です。英語では **pentagram** (ペンタグラム)。**five-pointed star** (ファイブ・ポインテッド・スター) ...

正五角形のお不思議



右の五芒星の $AB:AC$ の比は $1.618 \dots$ と実は黄金比なのです。

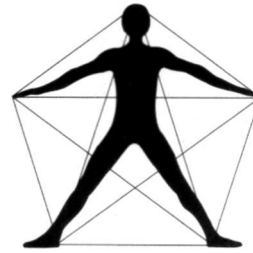
五芒星



$AB:AC=1:1.618$ (黄金比)

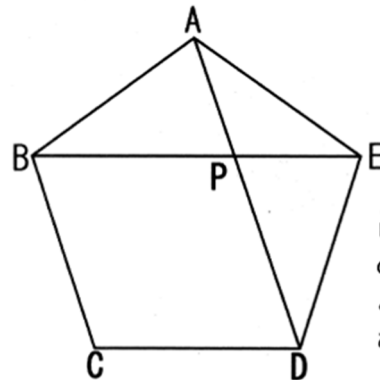
黄金比の象徴
レオナルド・ダ・ヴィンチの人体図

レオナルド・ダ・ヴィンチの人体図は黄金比の象徴である



黄金分割 (golden cut)

ピタゴラスは正五角形 $ABCDE$ の対角線 AD と BE の交点を P とすれば $BE:BP = BP:PE$ であることを発見した。



ピタゴラスは、正五角形 $ABCDE$ の対角線 AD と BE の交点を P とすれば、 $BE:BP = BP:PE$ であることを発見した。

フィボナッチ数と五の関係

14. フィボナッチ数と

五との関係は不思議

な関係がある。

[1] フィボナッチ数 F

$$F = 1.618033989$$

[2] F から 0.5 を引く

$$1.618033989 \dots$$

$$-0.5$$

$$1.118033989 \dots$$

[3] 上記を2倍する

$$1.118033989 \dots \times 2$$

$$= 2.236067978$$

[4] 上記を2乗する

そもそもフィボナッチ数列とは

1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89 で $1+1=2$ 。 $1+2$ は 3。

$2+3=5$ 。 $3+5=8$ 。 . . .

隣接する二つの比はドンドン大きくなればフィボナッチ数なる。

① 思いついた二つの数についても同じような関係が成り立つ。又下記の様な連分数もフィボナッチ数である。

フィボナッチ数の不思議

(その1)

数列 1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89

$$1 \div 1 = 1$$

$$2 \div 1 = 2$$

$$3 \div 2 = 1.5$$

$$5 \div 3 = 1.6666666 \dots$$

$$8 \div 5 = 1.6$$

$$13 \div 8 = 1.625$$

$$21 \div 13 = 1.615384615 \dots$$

$$34 \div 21 = 1.619047619 \dots$$

$$55 \div 34 = 1.617647059 \dots$$

$$89 \div 55 = 1.618181818 \dots$$

⋮ ⋮

$$= 1.618033989 \dots$$

連分数とフィボナッチ数

$$1.618\ldots = 1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \ldots}}}}}$$

フィボナッチ数の不思議

(その2)

① 数 思いついた2つの数 例[17]と[11]

② $11 + 17 = 28$

$17 + 28 = 45$

$28 + 45 = 73$

$45 + 73 = 118$

$73 + 118 = 191$

$118 + 191 = 309$

③ $17 \div 11 = 1.545454\ldots$

$28 \div 17 = 1.647058\ldots$

$45 \div 28 = 1.607142\ldots$

$73 \div 45 = 1.622222\ldots$

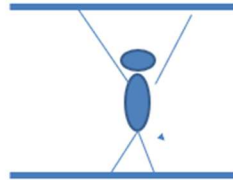
$118 \div 73 = 1.616438\ldots$

$191 \div 118 = 1.618644\ldots$

$309 \div 191 = 1.617802\ldots$

15. 天地創造の力・五

昔は天と地がくっついていて暗かった。天を持ち上げて明るい世を作ったのが天地創造の神である。中国では盤古であり、沖縄ではアーマンチュウであり。



天と地を押し上げて人の世を作った。
天地創造の神の業

天と地の間に力を加えると漢字の五の字になる。

漢字の五の字には天地創造の力がみなぎっている。五行の



天と地の間に力がある
五行である。

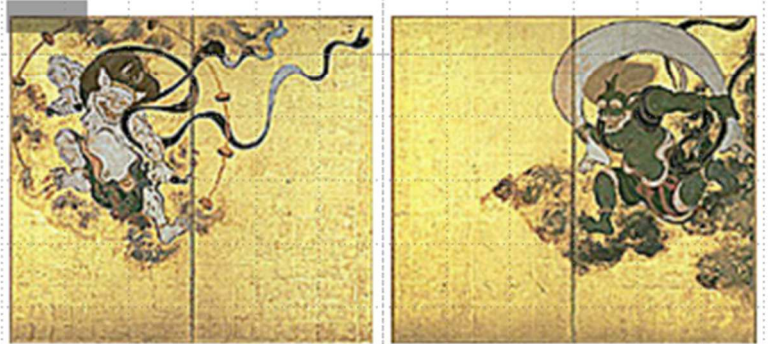
16. 屏風絵に見る巧みな図面構成

面構成

金箔を貼り廻らせた屏風には無限の奥行きが存在する。左の大きな袋の風神と雷を打ち鳴らす太鼓を打ち鳴らす雷神の間に広い空間が描かれている。これは非常に明確なデザイン意図がある空間です。この真ん中の空間が絶妙な緊張感を生み出している。

屏風絵に見る巧みな図面構成

金箔が張り巡らせた屏風には無限の奥行きが存在する。風神と雷神の間の空間には、明らかにデザインされた余白がありそこに絶妙な緊張感が生まれる。



日本人が生み出した質の高い美意識である。

日本の美			
○俳句	五七五		
○短歌	五七五七七		
○華道	池坊・黄金比	未生流・白銀比	
○桜・梅の花びら	五枚	普通	
○富士山	v5	富士山麓に鸚鵡鳴く	
○家紋			
○伝統文様			
○神社建築			

17. 日本の美

日本人が生み出した美は屏風絵だけではない全ての創作文化に及ぶ。

俳句の五七五の 17 文字に俳諧の心を極めたのが松尾芭蕉である。五文字が重要である。

短歌は五七五七七である。五文字が重要である。

日本文化には色々なところに美が潜んでいる。伝統模様。家紋。神社建築
華道

18. 身体部位の左右

西洋の美学は全て左右対称であるが日本の美学が全て左右対称のようで実は少しずつ左右でズレている、
神が作った最大の芸術作品が人体である。

① 利き手・利き足。②砂漠で直進すると大きな円を描いている。リングワンダリングという。③右脳と左脳④内臓の配置

身体・部位の左右

- ▶ ○利き手
- ▶ ○利き足
- ▶ リングワンダリング
- ▶ ・砂漠で直進すると大きな円を描く
- ▶ ○右脳と左脳
- ▶ ○内臓の位置
- ▶ ・心臓は左・肝臓は右に偏る
- ▶ ・胃は左・盲腸は右

4-1 美の五要素

19. 美の五要素

①シンメトリー	Symmetry
②プロポーション	Proportion
③バランス	Balance
④リズム	Rhythm
⑤コンポジション	Composition

20. シンメトリーの美

4-2 シンメトリー Symmetry

◆シンメトリーの造形の美

Symmetry ← ギリシャ語 Symmetries

Syn(共に) + Metron(=Measure測る)

◆シンメトリーの基本形

1. 左右対象 [鏡映] …… 反射
2. 点対象 [回転] …… 放射対称
3. 平行移動 [移動鏡映]
4. 拡大縮小 [相似]

◆2つの組み合わせ

5. 鏡映と回転
6. 回転と移動
7. 移動と相似
8. 相似と鏡映
9. 鏡映と移動
10. 回転と相似

◆3つの組み合わせ

11. 鏡映と回転と移動
12. 回転と移動と相似
13. 移動と相似と鏡映
14. 相似と鏡映と回転

21. プロポーションの美・

4-3 プロポーション Proportion

Proportion(比率)とDivision(分割)の美

①黄金分割

黄金律、神授比例法

$$A : B = B : (A + B)$$

$$A : B = 1 : 1.618 \dots\dots$$

$$= 55 : 89$$

②フィボナッチ数列

0、1、1、2、3、5、8、13、21、

34、55、89、144……

・ダーシー・トムソン（生物学者）

巻貝の渦巻、ヒマワリの種の配列、サボテンの刺の配列

・フラクタル理論によってフィボナッチ数列のフラクタル性が
解明される

③等量分割 … 日本の美

・1 : 1 … シンメトリー

・1 : 2 … 畳みのサイズ、室内分割

一瞬のうちに数理的秩序が読みとれる長所

人間の美しさを感じる視覚の生理 …… 美の原理

・1 : 3 … 日本では西欧の黄金律にあたる比例法

日本の基本分割1 : 1、1 : 2の分割を壊さないでそれら
と調和させる日本の優れた造形感覚が生み出した調和率。

④ルート矩形

$$A : B = 1 : \sqrt{2}$$

$$= 1 : 1.414 \dots\dots$$

・二つに折っても、またその半分に折っても長短の比率が
変わらない

・用紙のA判、B判規格

○J・ハムビッジ

・静的均斉 … 整数比のProportion……（等量分割）

・動的均斉 … 自乗した時釣り合うProportion
（ルート矩形）、（黄金律）

22. 比率の美

美というものは数学や幾何学と大
変深い関係がある様だ。それも」
整数ではなく無限数である。

黄金比、白銀比、青銅比、白金比。日
本間等は美しいが少しずれると美
しくないどうゆうことなのだろう
か。

美とは何か？		
○黄金比	1:1.1618	約5.8倍
○白銀比	1:1.414	約5.7倍
○青銅比	1:3.303	約3.9倍
○白金比	1:1732	約4.7倍
○日本の量 (日本建築の寸法)	1:2	

比率の美・分割プロポーション

○ **黄金比** 1:1.618... フィボナッチ数列

1:(1+√5)÷2 正五角形の辺と
対角線の比

○ **白銀比** 1:1.414... √2

直角二等辺三角形
の2辺の比

○ **青銅比** 1:1.732... √3

正三角形の高さと1辺の比



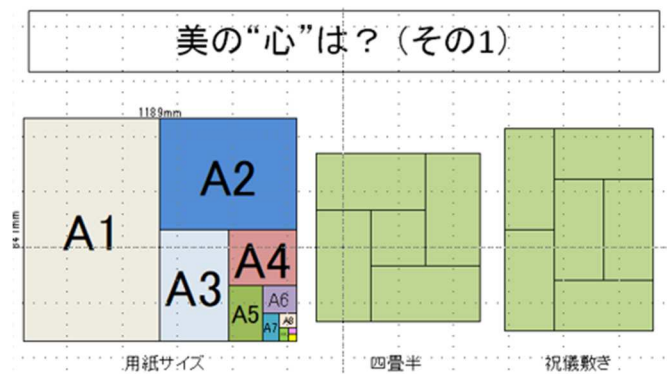
23. 美の心は？（その1）

美というものはもっと深い真実が隠れているに違いない。用紙のA版,B版は隙間が作らない。

日本間の4畳半の間や6畳の間は隙間無く敷き詰められる。

美というものは隙間ができないのだ。

切れはしを作らないのだ。



24. 美の心は？（その2）

巻貝は成長すると共にどんどん大きくなるが原初の小さい時の殻は捨てていない利用して大きくなっている。

サッカーボールは5角形と6角形の組み合わせで球を覆っている。隙間なく。

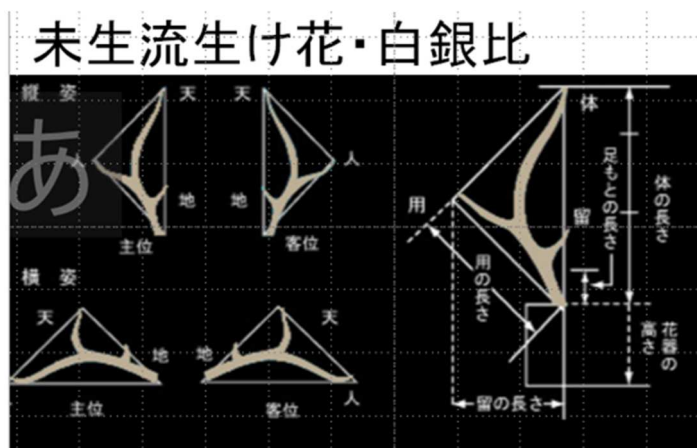
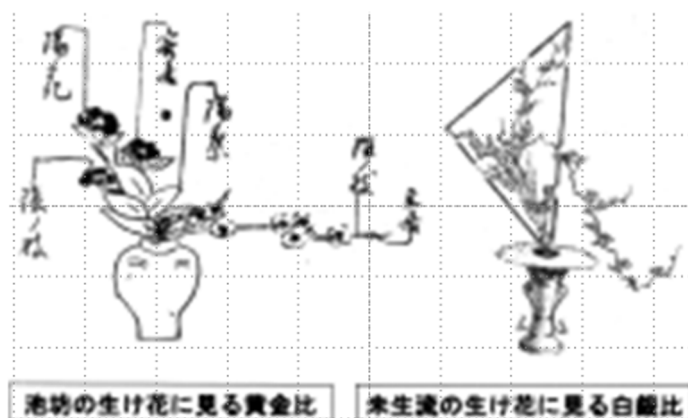
安山岩や玄武岩の溶岩が創る柱状節理は6角形である。6角形は溶岩が冷却する時の熱収縮のクーリング・ジョイントなのだ。

やはり隙間ができない。



25. 池坊と未生流

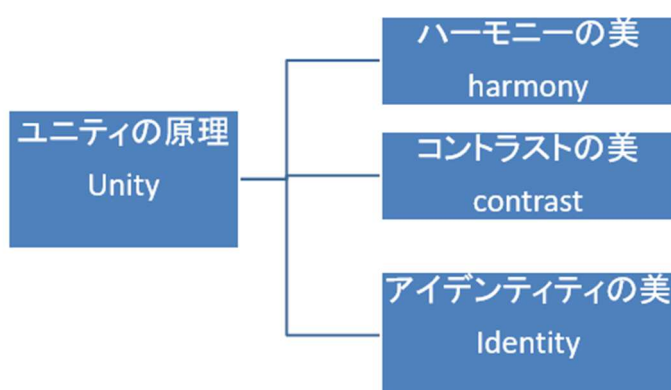
池坊の生け花は黄金比である。
未生流の生け花は白銀比である。



26. 美の演出・三定理

筑波大学の三井秀樹先生が面白い本を出している、『美の構成学』を読んで教えられた。美にはユニティ統一の原理があり、3定理があるという、ハーモニー、コントラスト、バラエティだという。私はバラエティではなくアイデンティティが良いと考える、

美の演出・三定理



更に美の 5 要素として①シンメトリー②プロポーション③バランス④リズム⑤コンポジションだという。

バランス Balance

- ①左右対称バランスの美
- ②水平感バランスの美
- ③垂直感バランスの美

リズム Rythm

- ①繰り返し Repeation
- ②交互反復 Alternation
- ③諧調 Gradiation
- ④級数進展 Progression

美学が解き明した美の法則

美の構成三定理

- ハーモニー(調和の美)
- コントラスト(対比の美)
- アイデンティティ(他にない自己)

美の五要素

- シンメトリー
- プロポーション
- バランス
- リズム
- コンポジション

27. バランスとリズム

シンメトリーとプロポーション・分割の比については既に詳述したので。ここではバランスとリズムについて考えたい。

バランスの基本は基調である。

斜めは不安定で美ではない。ピサの斜塔はバランスが無くひやひやする。

水平基調か垂直基調が基本である。水平基調の事例として法隆寺の大講堂を占めそう。

水平基調



桁行9間、梁間4間の法隆寺大講堂
(奈良時代990年)

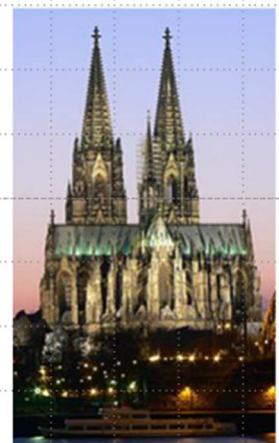
垂直基調の例として日本の五重塔とゴシック建築の大聖堂を示す。

・水平基調のところに垂直のものが合えば非常に違和感を覚える。美の破壊である。

垂直基調



・瑠璃光寺五重塔・山口1442年
ケルン大聖堂・ゴシック建築ドイツ



●東寺の五重塔

日本一高い木造五重の塔・日本最古・国宝世界遺産。

東寺の五重塔

日本一高い木造五重塔・日本最古・国宝世界遺産
弘法大師による創建・教国護国寺



28. リピテーション・繰り返しの美学

稻荷神社の赤い鳥居が所狭しと多く建てられている。

- ・春日大社の回廊
- ・長谷寺の階段状回廊

春日大社・回廊



pixta.jp - 5550761

春日大社回廊 1 の写真素材 [5550761] - P...
pixta.jp



春日大社の回廊 写真素材 [5542587] !
photolibrary.jp

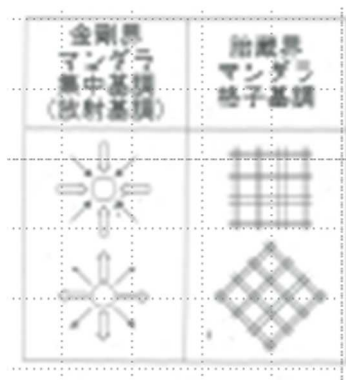


29. 最高の美の演出・アイデンティティの演出家紋デザイン

家紋デザイン事例・葵



30. コンポジション・



コンポジション Composition

- ①金剛界曼荼羅
 - ・集中基調・放射基調
- ②胎蔵界曼荼羅
 - ・格子基調 **タイトルを入力**
- ③原始紋様の構成
 - ・円紋・同心円紋・渦巻紋・三角紋・流水紋・雲形紋・鋸歯紋・山形紋・直弧紋
- ④紋様全体レイアウト
 - ・充填構成形式
 - ・左右連続構成形式
 - ・散点構成形式

●コンポジション・構成・組み立て COMPOSITION

(1) 要素を重視した構成

① 点。②線。③図。④立体、⑤空間

(2) 素材を重視した構成

① 水。②土石・岩。③光と影。④草木・樹木。⑤金属。⑥紙。⑦プラスチック。⑧セラミック。⑨新素材

31. 被写体の構図

(1) 日の丸・構図

真ん中に被写体を配置

背景をボヤカす

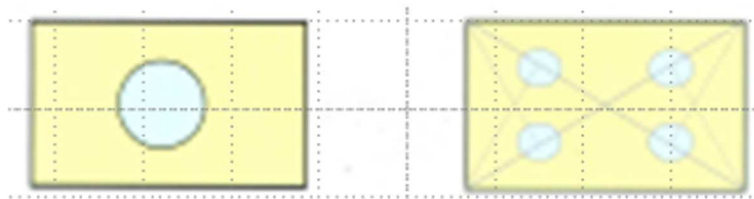
撮影者の意図・ストーリーが明確

(2) 対角線構図

画面に安定感がある

対角線上に主題と副題がある

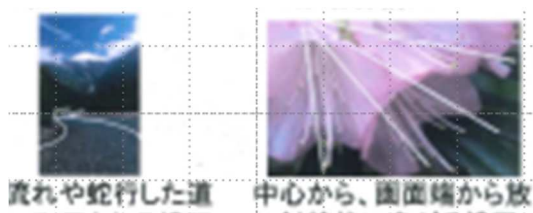
画面にメリハリがある



(3) S字構図

川の流れや蛇行した道などに

画面に安定感



(4) 放射線構図

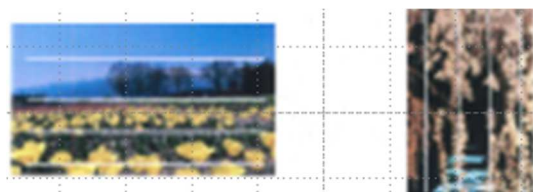
中心から画面端に広がる

画面端から中心へ集中

(5) 水平基調構図

横のラインを統一

層構造を演出



(6) 垂直基調構図

縦のラインを統一

縦・天に向かう

32. 曼荼羅とは

曼荼羅とはサンスクリット語（梵語）の音を漢字をあてたもので、漢字には意味がない。

○曼荼羅とは悟りの世界を図絵で示したもの。
大日如来を中心とした図柄で二つで一對である。

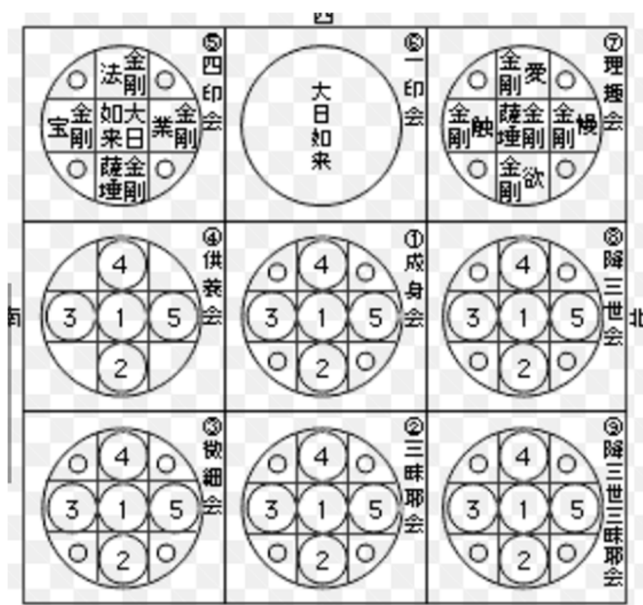
○二つを合わせたものを両界曼荼羅という。

○胎藏界曼荼羅とは【理】現象世界を貫いている普遍なるもの

○金剛界曼荼羅とは【智】真理を悟る仏様の知恵。

白を基調に仏様は白い月輪の中に描かれています。

金剛界曼荼羅



金剛界曼荼羅

【九金】		【西】								
四印会 (13尊)		一日会 (3尊)		理趣会 (17尊)						
【南】	伏魔会 (72尊)		成身会 (1661尊)		【北】					
			第二世界 (71尊)							
		三昧耶会 (32尊)		第二世界 三昧耶会 (72尊)						
【東】										
○内の対角四隅…四俱胝菩薩										
○外の対角四隅…四俱胝菩薩										
○金剛輪を囲む…賢如千仏										
○東西南北の隅方に四菩薩										
○その外側の外金剛部院・20天										
①中央：大日如來 四方：四親近菩薩 ②中央：阿閼如來 四方：四親近菩薩 ③中央：宝生如來 四方：四親近菩薩 ④中央：無量壽如來 四方：四親近菩薩 ⑤中央：空成統如來 四方：四親近菩薩										
合計1,461尊										
(曼荼羅-6)										

胎藏界曼荼羅



胎藏界曼荼羅諸仏百四十尊の構成

○十二院で構成

○中央の中台八葉院。其の真ん中に大日如来

○大日如来の四方に四如来【東】宝幢如来【南】開敷華王如来【西】無量寿如来【北】天鼓雷音如来

○その中間に四菩薩【東南】普賢菩薩【南西】文殊菩薩【西北】觀世音菩薩【北東】弥勒菩薩

○初重【東】編智院に一院と六尊【西】持明院五尊【北】蓮華 34 尊【南】金剛手院 33 尊

○二重目【東】釈迦院に 39 尊【西】虚空蔵院 8 尊【北】地藏院 9 尊【南】徐蓋障院 9 尊

○三重目・最外院・外金剛部院【東】 33【西】 43【南】 62【北】 52. 計 202 尊

○胎藏界曼荼羅全部で 410 尊

胎藏界曼荼羅十二院・三十構造

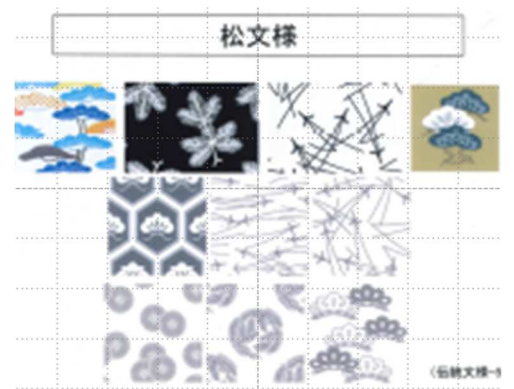
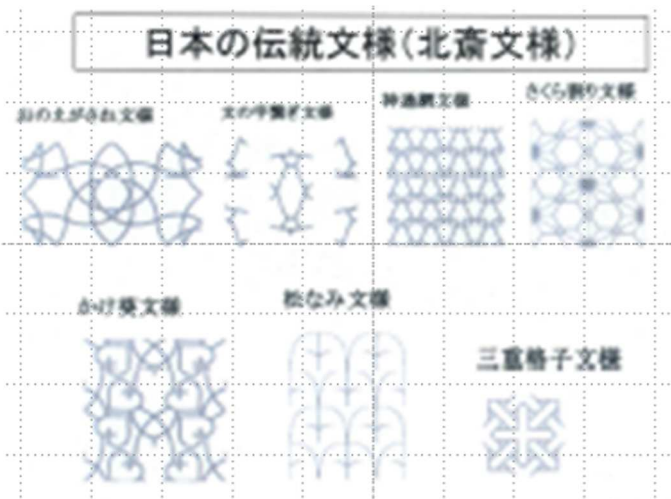
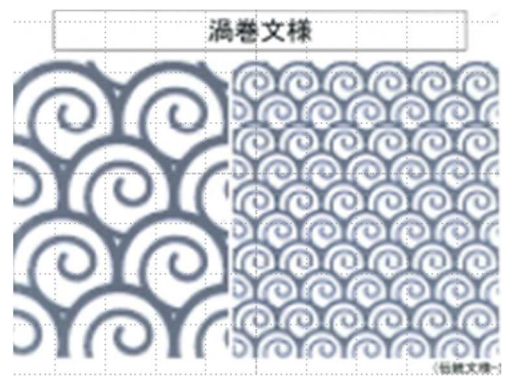
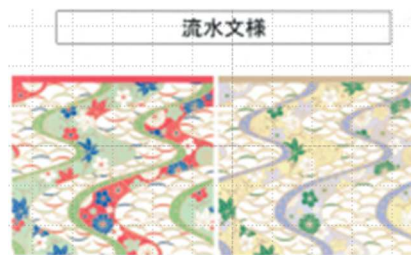
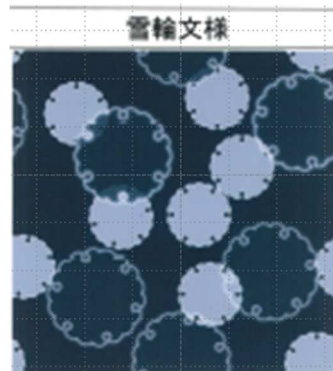
私たち煩惱と迷妄に満ちた凡夫衆生が、生まれながらに本来具有している菩提心（サトリを求める心＝仏性）を發起し（発心）、三密の行（心にある仏を觀想し、手にその仏の印を結び、口にその仏の真言を唱え、その仏と一体無二になる修法、＝自利）と大悲の行（＝利他）を積み重ね（修行）、サトリ（の仏智）を得て（菩提）、寂靜な不動の境地に入って（涅槃）、衆生済度の実践を行う（ことが「一切智智」＝大日如来の内証智に至るといふ）階梯を三重構造で示したというのである。

ちなみに、胎藏マンドラには「中台八葉院」「遍知院」「金剛手院」「持明院」「蓮華部（觀音）院」「釈迦院」「文殊院」「除蓋障院」「虚空蔵院」「蘇悉地院」「地藏院」「外金剛部院（最外院）」の十二院があるが、これらの院が第一重（菩提心因／受胎）・第二重（大悲為根／出生）・第三重（方便究竟／成育）のどれに配属されるかは諸説あって一定ではない。

33. 文様の文化



- 雪輪
- 雪華
- 渦巻
- 流水
- 松
- 北斎



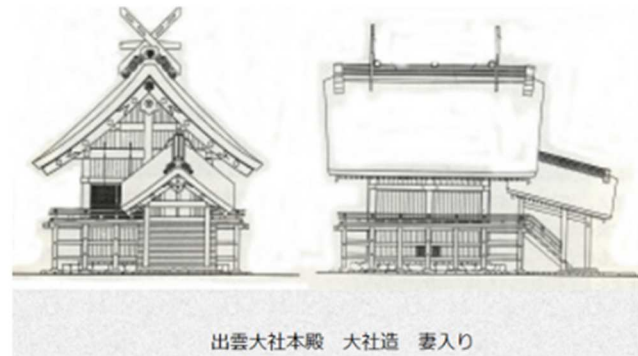
3 4. 左右微妙にずらす文

化

出雲大社本殿は妻入りで入り口が真ん中ではない。

鯉木を 10 本とするなど細部にわたり様式の定められた唯一の神明作り

出雲大社本殿 大社造 妻入り



狛犬も向かって右は阿吽の阿で口を開いている。左は阿吽の吽で口を閉じている、



○左近の桜・右近の橘

・京都御所「紫宸殿」の前庭にある・建物の内（天皇）から見て左右・天皇を守る左近衛府と右近衛府という役人が立つ場所
それより内（裏）が天皇の皇居を禁裏。平安神社・青蓮院・仁和寺にもみられる。



○寺院の正門の左右には阿形と吽形の仁王さんが寺



院境内に邪霊が侵入するのを阻止している。

35. 繰り返しの美学・REPEATATION

音楽・美術・建築・文学にもある

○繰り返してリズムを作る

和歌や俳句や詩やお経

○繰り返しには秩序と発展がある

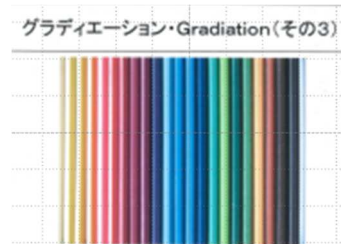
○不安な気持ちに安らぎをもたらす。



36. グラデーションの美

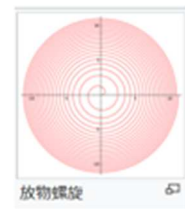
●激変は次はどうなるか分からないので不安である。

激変を避け徐々に変わる変化は心の安定が図れる。



37. プログレッション・級数展開の美学

- ・級数
 - 等比級数
 - 等差級数
- 関数
 - ベキ関数
 - 三角関数
 - 指数関数
 - 対数関数
- 曲線
 - 楕円曲線
 - サイクロイド曲線
 - クロソイド曲線
 - リサージュ曲線
 - アルキメデス曲線



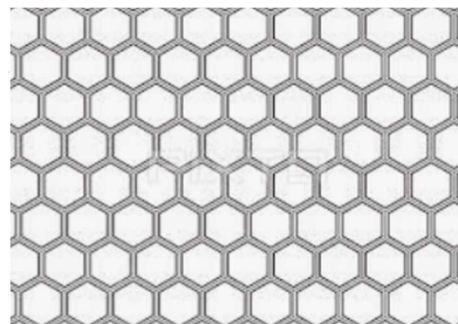
38. ミツバチの巣と柱状節理



不思議・謎を解き明かす鍵

- オイラーの多面体定理
- プラトンの立体
- アルキメデスの立体

形	面の形	面の数	辺の数	点の数
正四面体	正三角形	4	6	4
正六面体	正方形	6	12	8
正八面体	正三角形	8	12	6
正十二面体	正五角形	12	30	20
正二十面体	正三角形	20	30	12



39. 不思議・謎を解

き明かす鍵

40. オイラーの多面体の定理とは

頂点の数－辺の数＋面の数＝2です、

○プラトンの立体とは正多面体

全ての面が同一の正多面形

すべての頂点に於いて接する面の数が等しい凸多面体

4、6、8、12、20面体の5つのみしかない
プラトン立体の大切さに気付いたのは古代ギリシャの哲学者

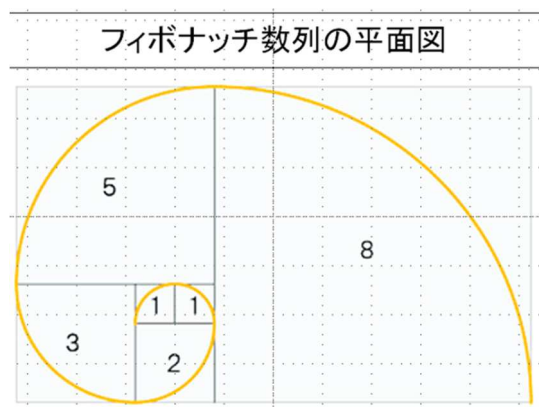
ピタゴラスは数が宇宙を支配すると考えた。数秘術という。

数には特別な意味がある。

●フィボナッチ数列を平面形に配置すれば
巻貝の形になる。右図

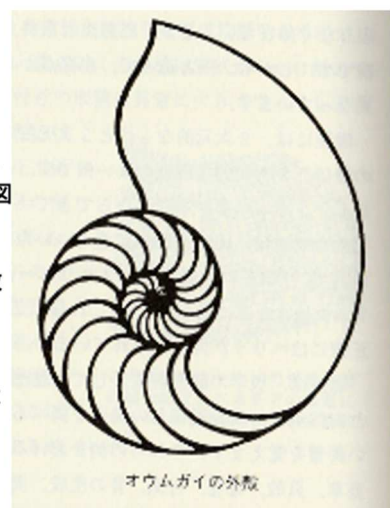
●オウムガイの外殻等傾螺旋

一律に拡大縮小しても図形は元の図とピッタリ一致する。ベルヌーイや仏数学者は「世の中がどう変化しようとも等傾螺旋の神秘は永遠である。」



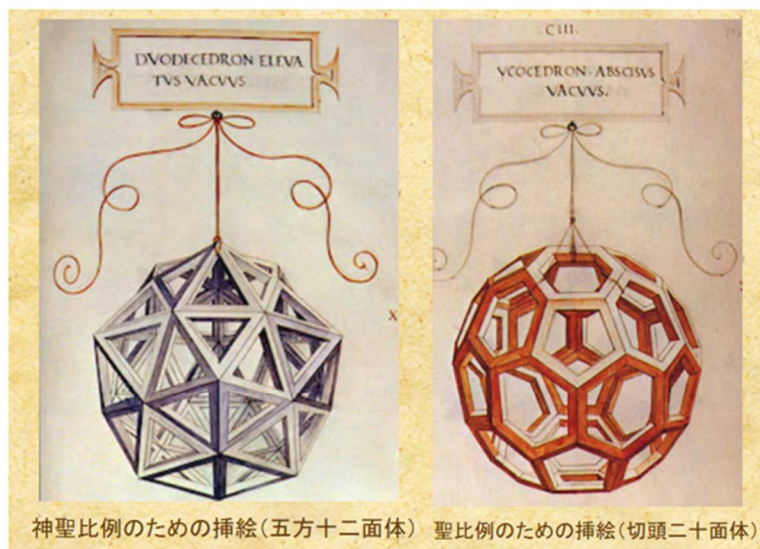
オウムガイの外殻等傾螺旋

○一律に拡大縮小しても図形は元の図形と
ピッタリ一致する、
○ベルヌーイ・仏数学者
「世の中がどう変化しようとも等傾螺旋の神秘は永延である」



○数学者ルカーパチョーリのためにアルキメデスの多面体を元にレオナルドがデッサンした挿絵が描かれている。

- ① 神聖比例のための挿絵・切頭二十面体。
- ② 神聖比例のための挿絵・五方十二面体



41. プラトンの神聖幾何学に

寄れば

火、土、風、水の四大元素に最も神聖なエーテルを加えた5つの元素がプラトン立体にあてはまります。正4面体
 正6面体
 正8面体
 正12面体
 正20面体

レオナルドダビンチのデッサン

- | | |
|------------|--------|
| ○正四面体・・・火 | 正三角形 |
| ○正六面体・・・土 | 四角柱 |
| ○正八面体・・・空気 | 至宝・有難い |
| ○正十二面体・・・天 | 球の半分 |
| ○正二十面体・・・水 | 球に近い |

球＝虚空（無）をくわえると元素は6つになります。

42. プラトンの発見と叡尊の五輪塔

これは驚きである。日本で考案された供養塔・五輪塔のデザイン思想である。

- 空・・・宝珠・・・あるがまま全てを包み込む
- 風・・・空へ向かう半球・・・成長・・・拡大自由
- 火・・・三角笠形・・・力強さ・・・情熱・・・動機・・・欲求
- 水・・・円球・・・柔軟性・・・変化への対応
- 地・・・方・・・四角柱・・・確固として動じないこと。

五輪塔

- 空・宝珠・あるがまま
すべてを包み込む
- 風・半円・成長・拡大
自由
- 火・三角・力強さ・
情熱・動機・欲求
- 水・円・柔軟性・
変化への対応
- 地・方・確固として動
じない事



叡尊塔（奈良市西大寺奥の院）

五輪塔タイプ

- 空・・・宝珠
あるがまま全てを包み込む
- 風・・・空へ向かう半球
成長・拡大・自由
- 火・・・三角笠形
力強いさ・情熱・動機・欲求
- 水・・・球
柔軟性・変化への対応
- 地・・・四角柱
確固として動じない



西大寺の塔頭『体性院』叡...

又、五輪塔の五石には題目・名号が上から下に刻される場合もある。
 梵字「キャ・カ・ラ・バ・ア」の五文字が刻される。
 日蓮宗・天台宗の場合は「妙・法・蓮・華・経」。
 浄土宗の場合は「南・無・阿弥・陀・仏」の6文字が刻されている。

プラトン (前427～347)	五輪塔	題目	名号
正立方体の発見	真言・禅宗	日蓮・天台	浄土宗
天 正十二面体	空 宝珠	妙	南
空気 正八面体	風 半球	法	無
火 正四面体	火 三角屋根	蓮	阿弥
水 正二十面体	水 球	華	陀
土 正四面体	土 四角柱	経	仏

43. 野球ボールとサッカーボール

野球ボールは2枚の革を赤い18の綴じ目縫い合わせている。革は伸びるので可能となった。
 サッカーボールは正五角形が12と六角形が20の32面体である。



44. 地球を覆う14の巨大プレート

地球という楕円球を14の巨大プレートで覆っている。
 日本はその内4つのプレートの交点に位置しているので地震や火山が多い。
 宿命を背負っている、

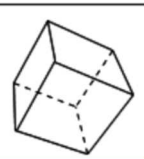
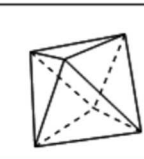
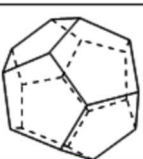
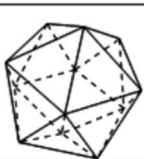
地球表面を覆う巨大プレート14プレート

- ユーラシアプレート ●北アメリカプレート ●太平洋プレート
- フィリピン海プレート ○南アメリカプレート ○ココスプレート
- ナスカプレート ○カリブプレート ○アフリカプレート
- 南極プレート ○アラビアプレート ○インド・オーストラリアプレート
- スコシアプレート ○ファンデフカプレート



正四面体は全部で 5 つしかない。

正四面体。正六面体。
正八面体。正 12 面体、
正 20 面体である。

					
立体名	正四面体	立方体(正六面体)	正八面体	正十二面体	正二十面体
面の形	正三角形	正方形	正三角形	正五角形	正三角形

立体名	正四面体	立方体(正六面体)	正八面体	正十二面体	正二十面体
面の形	正三角形	正方形	正三角形	正五角形	正三角形
面の枚数	3枚	3枚	4枚	3枚	3枚
頂点の数	4	8	6	20	12
面の数	4	6	8	12	20
辺の数	6	12	12	30	30

頂点の数と面の数
と辺の数には
法則がある。

45. 仏教と自然科学

●色受想行識は人間を成り立たせている五つの要素。

色は肉体・物質。受は感覚。想は想像。行は心の作用である。識は意識の事である。

●仏教は自然科学である

○nature は自然に非ず。人工である。

○色即是空・空即是色

○六因四縁五果

○十二支縁起

○十如是・四種求・五種比量

○七難三毒二求・と惟神の道

○有情世間と器世間と四苦八苦

○五明・三玄と六相円融

○四法界・十玄門（華嚴の知恵）

○四諦と八正道

仏教の五要素・五蘊と八識

・ 仏教・人間を成り立たせている五要素

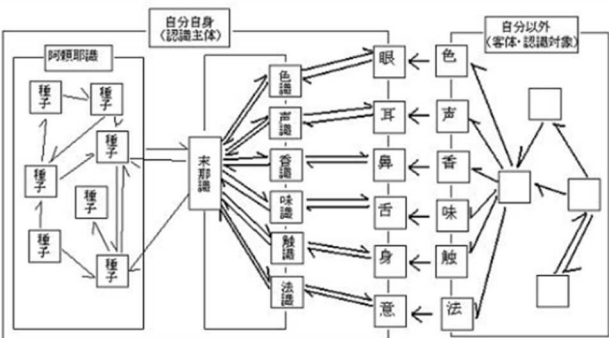
・ 五蘊

- ・ 色……肉体
- ・ 受……感覚
- ・ 想……想像
- ・ 行……心の作用
- ・ 識……意識
- ・
- ・
- ・

・ 八識

- ・ 眼
- ・ 耳
- ・ 鼻
- ・ 舌
- ・ 身
- ・ 意
- ・ 末那識
- ・ 阿頼耶識

認識主体と認識客体



46. 改めて風土工学とは

●風土工学とは

風土工学とは良好風土を形成する工学・実学である。

其の地の誇りうる風土（ローカルアイデンティティ）を形成する地域づくりを目指す。

自ずから風土工学の方法にたどり着く

○地域の歴史と地勢（地理・地質・・・）

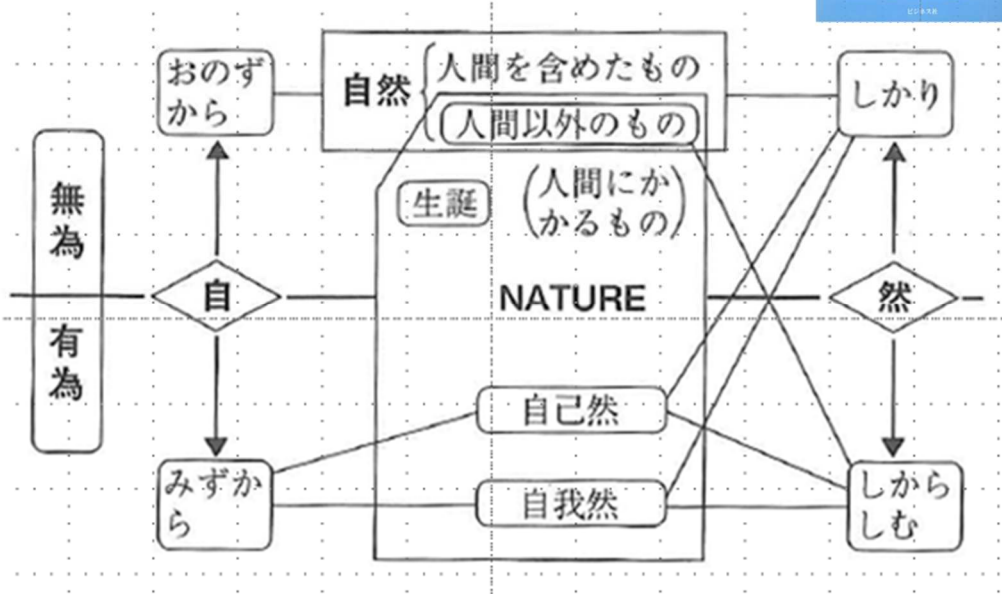
自然現象とは何か。大災害をもたらす。一方大自然の恵み・四季のうるおいを与える

地域の誇りとは何か。ローカルアイデンティティとは何か
うつくしい風土とは何か？・・・美学・五行にたどり着く

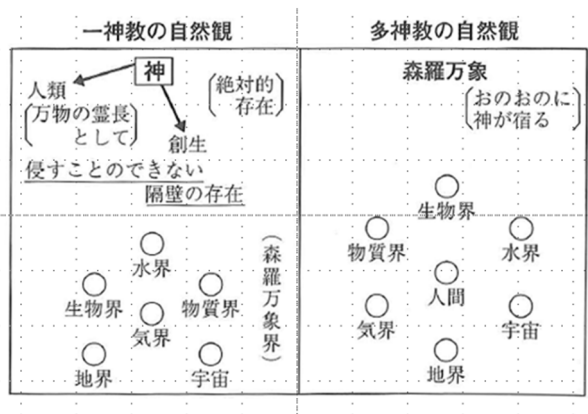


47. Nature は自然に非ず・東洋の知恵の環境学

●仏教の哲学が風土工学には欠かせない。



●多神教の自然観が重要である。



- 風土工学には風土の美学が重要である。



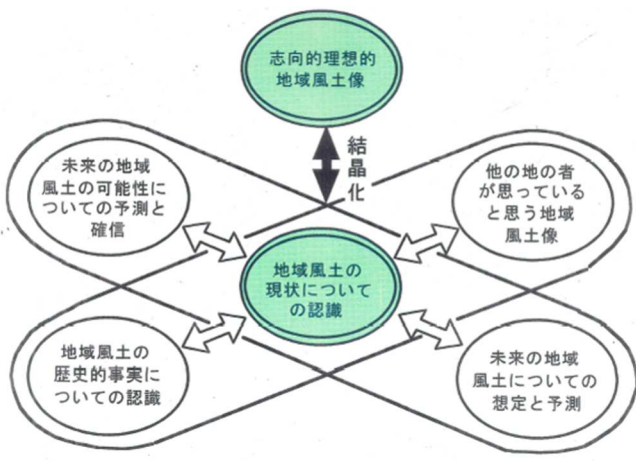
美の構成学
三井秀樹

48. 自己と他者・4窓分析とアイデンティティ

- 自己の心理学が重要である。



W A Yテストの結果	「男はつらいよ」 フーテンの真のアイデンティティ
自己の現状についての 認知と感情	姓は車、名は寅次郎 人呼んでフーテンの寅と発します
過去の経験の記憶と事実	生まれ育ちは葛飾柴又です 帝釈天で産湯を使い
未来の自己についての 規定と予測	お嫁にや行けぬ わかっちゃいるんだ妹よ
他者に見られていると 思う自己像	俺がいたんじゃ (裏) 他がおれを良く見ていない
行動の可能性についての 予測と確信	奮闘努力の甲斐もなく 今日も涙の日は落ちる
志向的理想的自己像	偉い兄貴になりたくて



風土工学デザイン対象としての形（かたち）

か	①事があった後に残り、それがあったと知られるしるし。 「あとかた」	虚
た	②占いの際に現れるしるし。「うらかた」 ③貸したしるしとして取った物。「抵当」 ④形を作り出すもとなる鋳型、紙型。「型」	
+		
ち	①古代から自然物に潜む威力・霊的な力「霊」「ち」 イ.)「とち」の「ち」。大地を主宰する地祇、地神 ロ.)「いかずち」「雷」の「ち」 ハ.)「おろち」「蛇」の「ち」 ②眼に見えぬ生命力の働きが「ち」には備わっている イ.)「いのち」の「ち」→「血」 ロ.)「ちから」の「ち」	
型枠で作られた土木構造物 + 「いのち」の「ち」 = 「血」のかよう → 「値」「ち」が備わる「かたち」 (風土工学がめざす「かたち」)		

49. 良好風土をデザインするというこ

とは

1. 「かたち」をデザインする
 2. 色彩をデザインする
 3. 相応しい名前をデザインする
- 命名するということはどういうことか
4. デザインするとはどういうことか

風土工学デザイン対象としての色彩 —「Color」にあらず「色」—

○ヨーロッパ諸国の「Color」の概念 形あるものに備わっている視覚の対象 → Color	
○漢字の「色」の概念 「巴」…人が跪いている形 「ノ」…人間の形	2人の人間が上下にもつれ合っている形
○大和ことばの「いろ」 恋する対象…「いろも」 敬する対象…「いろせ」…(兄) 「いろね」…(姉)	情・思いの移入 「美しさ」の誕生 「声にいろがある」
Colorという道具 + 情・思いの移入設計意図 (デザインコンセプト)	= 「美しさ」の誕生 (風土工学のめざすもの)

デザインと3つの「わざ」と2つの「すべ」 (Design)

- ① Designとは (心いれずものつくる)
 - [De] ……接頭語 遠ざかる
 - [Sign] ……神の意図 (おのずから存在の美)
- ② 3つの「わざ」
 - 「技」……手をたくみに用いる
 - 「藝」……種子 (Seeds) を植えつける
 - 「芸」……草を切る。除去する。芽をつむ

わざおき → ある特定の意味を含む行為・あるいは行為者である
わざわい → 呪術的な行為の結果としてもたらされた不幸
- ③ 2つの「すべ」 (みち)
 - 「術」— 行とボの会意文字、行とは十字路であり、ボとは呪霊をもつ獣行路の安全を祈ること
[忍術、馬術、etc.]
 - 「道」— 首と疋との会意文字、首を携えて修祓しながらすすむ地に赴く時の啓行の礼儀
人の安んじて行くところ

「みち」は異族邪霊と接触する最も危険の多いところ
道路における呪術とは邪霊の進入することを杜絶する呪術的な方法

- ハードのデザインより以上に重要なのがソフトのデザイン即ち名前と意味が大きなデザイン対象である。

**風土工学デザイン対象としての命名
— Namingではなく「命名」の心—**

○Nameは性悪説

単数のName「評判」

a good name	名声	} 単数 name
a bad name	悪名	
		には善し悪し
		はない

複数のNames「悪口」

○名は性善説

- ・名の「評判」名高い、大きい、優れた・・・名山、名士、名人
- ・「タ」べに「口」ずさむ尊厳のメッセージ

名前 + 「いのち」の移入 = 「尊厳」の誕生

命名者の意図

名前の使用 → 意図の伝達 → 夢の成長 → 風格の具備

(風 土 工 学 の 命 名 の 心)

命名のこころ

1. 名づけることによって「世界」は、人間にとっての世界となる。
2. 人間は名前によって連続体としてある世界に切れ目を入れ対象を区切り、相互に分離することを通じて事物を生成させる。
そして、それぞれの名前を組織化することによって事象を理解する。
3. ある事物についての名前を獲得することは、その存在についての認識の獲得それ自体を意味する。
4. 名前の体系は人間とその物とのあいだに数限りなく繰り返されたであろう試験（試練）を含む交渉を背負っているものであり、それは「生きられる」空間が創造されたことである。
5. 名づけるとは、物を創造または生成させる行為である。

文化とは何か？

——連続体の切れ目を入れ名を付ける——

連続体の中に違いを見つけ切れ目を入れて名をつける。
名づけることにより、そのものの価値が生まれ生きてくる。

- ・ 違いが分かる人 → 文化人
- ・ 違いが分からない人 → 野蛮人

◎価値を認めなければ………投資できない。

- ・ 猫に小判
- ・ 豚に真珠

牛肉

●工学という限り・デザインプロセスがありそれをたどればデザインができるということである。

風土工学の構造設計			
	従来の土木工学		風土工学
設計対象	構造物 (柱、梁、壁、基礎 etc)		土木構造物及びそれを取りまく風土 (意味空間、イメージ、心象風土)
設計の目的函数	(用)と(強) 社会に役に立ち、丈夫で長持ち 【経済効果】		(用)と(強)の具備されたものに(美)の追求 風土と調和し、風土を生かし、地域を光らす 【良好風土の形成】
構築する図面	設計図 (用と強の具現化) 平面図、立体図、横断図、側面図、配置図 etc		構造図 (風土における美の具体化) ・風土における土木施設の存在の構造図 ・風土における土木施設のアイデンティティの構造図
設計計算の理論	力学の手法 弾性力学 塑性力学 流体力学 etc 【ニュートン力学】		脳と心の科学手法 風土分析 イメージ分析 感性分析、認知分析etc 【認知科学】
構築材料	素材 コンクリート、土砂、岩石、鉄及び金属	ハード 姿・形・色彩、素材、テキスチャ	ソフト 施設の名前、デザインコンセプト、工法、儀式、イベント、物語

●風土工学デザインによる実際のデザイン事例。
九頭竜川の中流域の鳴鹿地点の堰を風土工学事例として設計してみた。
鳴鹿が教えてくれたという伝説物語をデザイン化したものである。



51. 風土工学・絵本の創作

●風土工学は其の地の誇りうる物語を創作することです。

[1] トータルデザインコンセプトの絵本化（コンセプトのブレイクダウン）

[2] 風土資産から絵本化する主題材を選定する

（1）先賢・偉人（蔡温・藤原千方・伊藤伝兵衛・安倍貞任等など）美女・賢女（雫石あねっこ）

（2）地名由来（甲武信ヶ岳、羽地三山、雫石、雷電、徳山、森吉山など）

（3）伝説

① 巨人伝説（八郎太郎、アーマンチュ。データラボー）

② 湖水伝説（三隈山。日田盆地、肘折カルデラ）

③ 河童・地蔵・観音・神様・仏様・（行入ガータロ、肘折、八草峠）

④ 祭祀・行事（御柱、修行鬼会、秩父夜祭、鬼剣舞）

（4）地形・地質（温泉、巨石、火山、プレートの活動、富士山）

[3] ストーリーの展開手法スクリプト（昔昔ある所に・・・どっと晴れまで）

（1）陰陽五行（木火土金水、鬼がけ平物語）

（2）滝沢馬琴・南総里見八犬伝手法（徳の山八徳物語）

（3）神話・民話（勧善懲悪、鬼退治、龍神伝説、治水伝説等）

（4）登場人物の設定（擬人化、主役、わき役、敵役、）（大道具、小道具）

（5）希求するもの（真善美、徳の社会、災害の宿命からの脱却）

[4] 絵の作成（紙質の設定、月桃表紙、7話ともトーンを変える他）

[5] ビデオ・映像化・演劇化





風土工学による作品集は

実に五がキーワードの作品が実に多い。

① 蔡温あけみお物語は5人の神の子の物語りです。

羽地ダム資料館は五行館で五角形です。

「雫あねっこ物語」はあねっこ五姫の物語りです。

創作絵本で最優秀賞を得た

鬼がけ平物語は

黄色鬼、赤い鬼、青鬼、白鬼、黒鬼の五鬼の物語りです。

最近「環境
五訓・風土
五訓もの
がたり」
の図書を
発刊しま
した。

竹林征三 風土工学作品と「五」

- 五訓シリーズ
 - *大地五訓 *大気五訓
 - *生類五訓 *環境五訓
 - *風土五訓・その他多数
- 蔡温あけみお物語
 - *五人の神の子
 - *羽地ダム資料館
五行館・五角形
 - *展示その他多数
- 雫石あねっこ物語
 - *あねっこ五姫物語
 - *道の駅あねっこデザイン
- 鬼翔湖物語・五鬼
 - 黄鬼・白鬼・青鬼・黒鬼・赤鬼



風土工学の思い	
その地の過去が 作ってきた風土 未来への夢が広がる それだけの風土ではない。 その地の現在が 作っている風土 それだけの風土ではなく 未来への発展の種を 育む風土にしたい。 その地の人々を 育んできた風土 誇り得る個が それだけの風土ではなく 誇り得る個が 自他に認められる 風土にしたい。 時空を越え一度しか 接し得ない 自由なる形成に 向かわせてくれる 自由なる形成に 向かわせてくれる 自他に 存在の意義を 育む 森羅万象 総てにとつて 夢ある 明るい未来に 向けて ただそれだけの 風土だけに はしたくない。 作 竹林征三	その地の過去が 作ってきた風土 未来への夢が広がる それだけの風土ではない。 その地の現在が 作っている風土 それだけの風土ではなく 未来への発展の種を 育む風土にしたい。 その地の人々を 育んできた風土 誇り得る個が それだけの風土ではなく 誇り得る個が 自他に認められる 風土にしたい。 時空を越え一度しか 接し得ない 自由なる形成に 向かわせてくれる 自由なる形成に 向かわせてくれる 自他に 存在の意義を 育む 森羅万象 総てにとつて 夢ある 明るい未来に 向けて ただそれだけの 風土だけに はしたくない。 作 竹林征三



5 2. 科学とは何か？

科学とは連続体に同類・異類を見分け、
切り目を入れて、ツボに入れてそれにふ
さわしい命名ラベルを張る。それをどん
どん細かくしていく。科学は「混ざれ
ばゴミ、分ければ宝」なのです。
科学には多くの弱点と弊害があります。

科学とは何か？

「科」 禾 𥽿 イネ、穀物
斗 𣪠 一定量をはかる器

「學」は省字、「斆」が正字

science... 原義 separate one thing from another cut, split

科学(science)とは連続体に(同類と違類を見分け)切り目を入
れて、壺に入れて、それにふさわしい命名ラベルを貼る。それを
どんどん細分化して行く。

○科学の弱点と弊害
○壺と壺との“はざま” 全体の不都合・不斉合
○まざればゴミ、分ければ宝



屋上に干木のある建物、両手を示す曰
そこに入る子弟を示す。
秘密的な厳しい戒律下の生活がなされた。

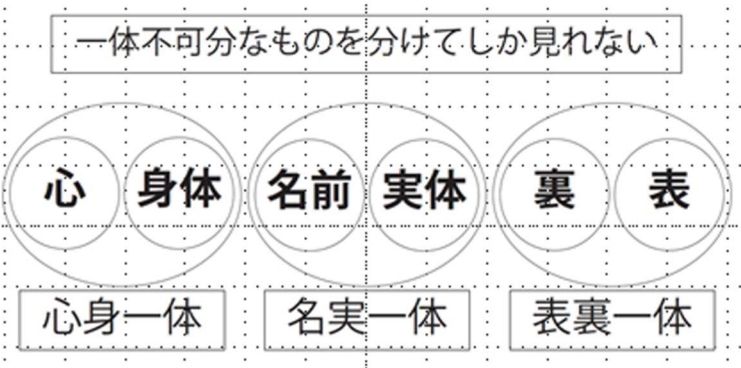
『これ^學文(おし)ふことは學(まな)ぶことの
半ばなり』

教学相長ずるをいう。
教えることは自己の学習に外ならぬ。
[周礼・大司楽]

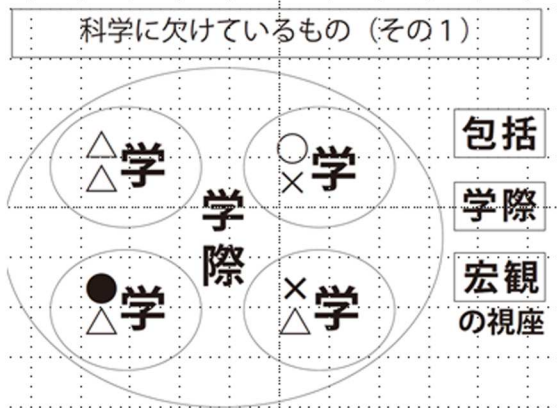
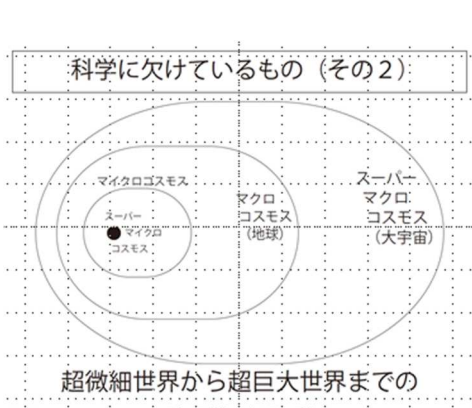
壺と壺との“はざま”。全体の不都合・不整合が見えない
學とはオーム真理教のサチアンの様な所の事をいう。

53. 科学の欠点

●一体不可分なものを分けてしか見れない。現在の医学は心身一体なのに心と体を分けてしか見ない。名前と実体は一体なのに、分けて命名権ビジネスという変な産業が出来ました



貨幣は裏と表があります。裏面だけでは貨幣の価値はありません。



●自然現象は水たまりの超マイクロコスモスから宇宙のスーパーマクロコスモスは相似構造です。ロシアの民芸品の人形マトリェウシカです。入れ子構造なのです。

●リンネの生物分類学というものがある。

同類、異類をどんどん細かく分類して全生物の分類表を作った。

ドメイン。界。門。綱。目。科。

属。種。・・・

全生物の種類は一体何種類あるのでしょうか。学名がついて物が約180万種類。

未知のもの、まだ学名が付いていな

生物分類学			
和名	英名	ラテン語	例ヒト
ドメイン	domain	Region	真核生物
界	kingdom	regnum	動物界
門	division	<u>divisio</u>	脊椎動物門
綱	class	classis	哺乳綱
目	order	<u>ordo</u>	サル目
科	family	<u>familia</u>	ヒト科
属	genus	genus	ヒト属
種	species	species	<u>H.Sapiens</u>

いものを入れると約1000万種類という学者がいます。本当のところもう一桁、2桁多いのかもしれませんが。

最近の遺伝子額の進歩は著しい。リンネの生物系統樹が正しい事が後追いで分かってきている。

真実を究める方法論は？二つのアプローチがあります。科学と瞑想から悟りです。

○科学…すなわち壺學です。①同類と異類の仕分け。何処が同じでどこが違うのか？細かい観察です。②同類を一つの壺に入れ、それにふさわしい名前を付けラベルを付ける。

○瞑想からの悟りです。

目を閉じて静かに考える。ひらめき。真実に気付く。覚醒です。

波動的性質と粒子的性質を併せ持つものは何だろうか。そのカギは仏教にありました。人間には悪人の面と善人の面と両面があるのです。決めつけるから見えてこないのです。最先端物理学者・湯川秀樹氏は気付きました。

54. 戦争のためと

平和のための科学

真実を極める方法論

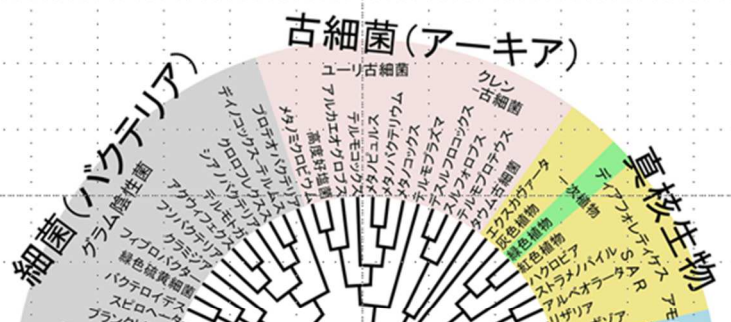
○科学…壺学

- ①同類と違類の仕分け。どこが同じでどこが違うか
- ②同類を一つの壺に入れ、それにふさわしい名前、ラベルを付ける

○瞑想…目を閉じて静かに考える。ひらめく。覚醒。
波動的性質と粒子的性質を合わせもつもの何だろう
…最先端物理学・湯川秀樹

○仏教…空海

全生物分類系統樹



(平和利用と戦争利用は紙一重である)

技術は同じ。紙一重

科学技術は大変進歩した。

原子力も平和利用すれば原子力発電だが

戦争に使えば原子爆弾になる。

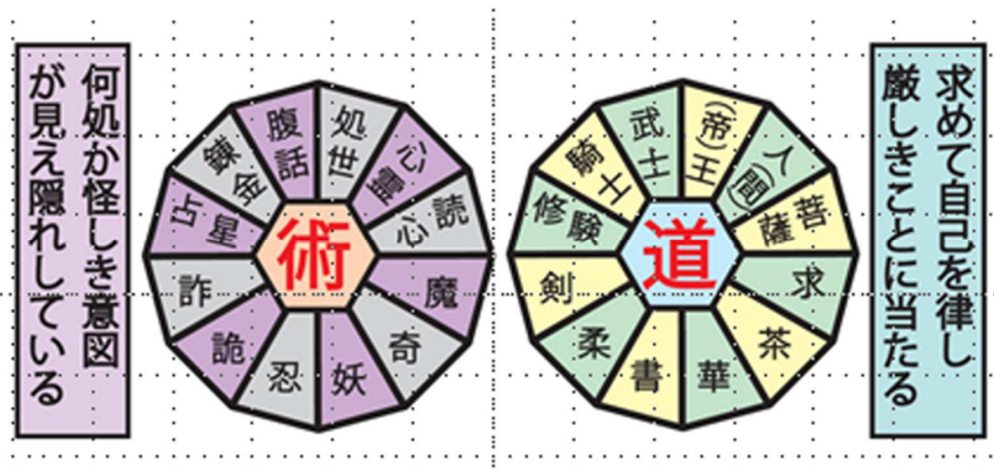
遺伝子の研究も平和利用すれば難病も治療できる。戦争に使えば生物兵器となる。平和利用と戦争利用は同じ科学技術である。違いは紙一重である。

奇術、腹話術、錬金術、魔術、妖術等術という字は何処か怪しき意図が見え隠れしている。

それに対し、武士道、修験

道、柔道等道という時には求めて自己を律し厳しきことに当たる。

技術とせず技道とすべきである。



55. 吉野裕子の異端の知恵・易と五行

昔、吉野裕子氏の「五行循環」の本を読んだときの感激は忘れない。

日本各地に伝わる年中行事・祭り・民俗芸能に見る木火土金水の思想。

民俗学者・吉野裕子氏（1916～2008.4. 18）主婦で 60 歳近くになってから独学・独創で陰陽五行學を究められた。1977「陰陽五行思想から見た日本の祭り」により筑波大学より文学博士。易を含む陰陽五行思想から日本の伝統行事・民俗を手当たり次第に解き明かしてこられた。民俗学の柳田學派の人々から完全に異端視された。

日本人は様々な呪術を行ってきた。民生の安定・五穀豊穡祈願のためには自然のなすがままでなく折り目節目に年中行事を配して其の調整に心を砕く。その重要な要素が易 g と五行の原理である。陰陽二元から発した森羅万象を統一的

に理解する「易」の理、木火土金水の五元素の輪廻に万物の生成、発展、交替を見る「五行」の思想、現行の民俗にかろうじて受け継がれている。吉野裕子より。木火土金水を相生・相剋から解く。実に奥深い。

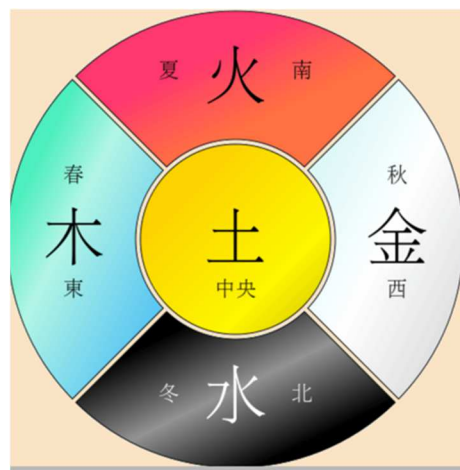
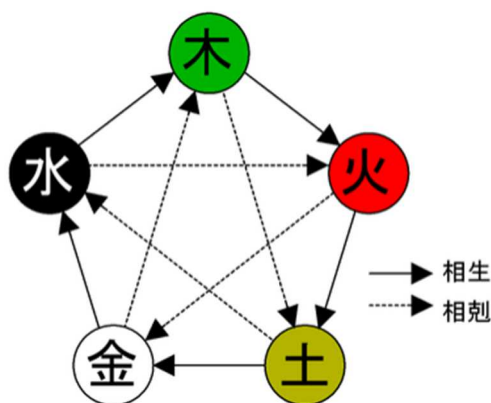
相生の理

木生水（木と木をこすり合わせると火が生じ。）火生土（火が燃えた跡には灰・土が残る。）

土生金（金属は土中から産出する。）金生水（金属の表面に露がつく。）水生木（雨によって草木は育つ。）

相剋の理

木剋土（木の根は土を切り裂く）土剋水（水を防ぐには土堤と土嚢）水剋火（水により消火）火剋金（金属は火熱で溶ける）金剋木（金属刃物で植物は切り裂く）



56. 禹王から伊勢五行までの系譜

禹王は伏羲と女媧から易と測量學・曲尺とコンパスによる正確な地図を学んだ。禹王は治水神と王道（為政者として王様として世の中を善政で統治する道）の始祖と五行の始祖の三つの特筆すべき天才である。

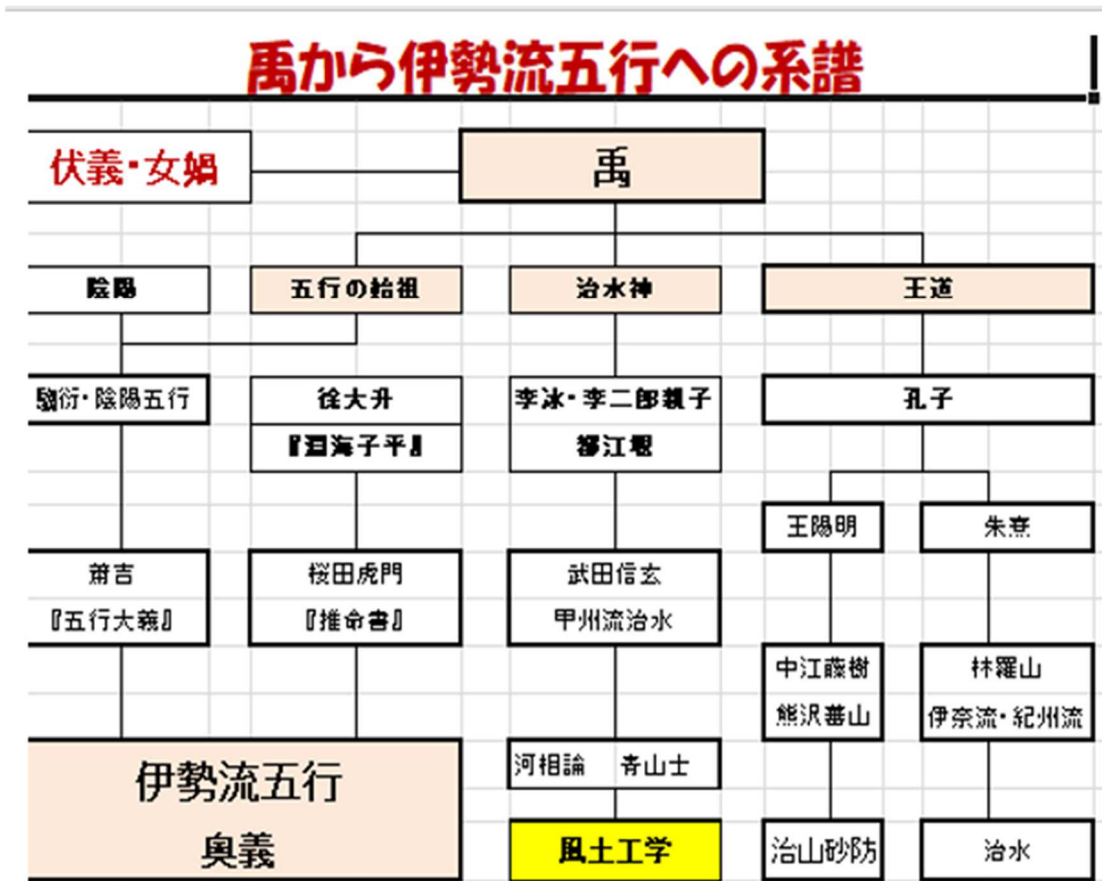
其の後五行と陰陽を合体させたのは易の説封伝であり、

鄒衍の「鄒子終始」編纂された。其の後隋の蕭吉により『五行大義』という奥義書が編纂された。又、徐大升の『淵海子平』という奥義書が日本に伝わり。桜田虎門の『推命書』が編纂された。これらが合体したのが伊勢流五行の奥義ではないか。

治水神としての禹王は李冰と李二郎親子の都江堰の実践を経て日本に伝えられ武田信玄の甲州流治水となり。安藝皎一の河相論や大河津分水の青山士の治水哲学が風土工学となった。

禹王の王道は孔子により伝えられ朱熹による朱子学は日本に伝わり官学となり

林羅山を経て伊奈流。紀州流に治水になっていく。
一方、王陽明の陽明学は日本に伝わり中江藤樹や熊沢蕃山等を経て現在の地山砂防へと伝わる。



伏羲・女媧
と禹王



伏羲氏と女媧氏

57. 八卦とは

陰陽とは正反対の方向性を持つエネルギーで男性・女性、光と闇、等対極的なせいしつをいう。。宇宙は全て陰陽きっぱりと別れるのではなく、陰の陰、陰の陽、陽の陰、陽の陽の四象に分かれる。四象を更に陰陽に分けたものが乾（けん）坤（こん）震（しん）巽（そん）坎（かん）離（り）艮（こん）兌（だ）に分かれる。

「易経」は中国古典で心理学・暦学・」でもある。
神托など包括経典で起源は恐らく紀元前 8 世紀まで遡るのではないかとされている。八卦が基本とし陰陽を表わす 3 本の筮（ぜい、うらない）の組み合わせで作られている。

- ☰ (乾)
- ☱ (兌)
- ☲ (離)
- ☳ (震)
- ☴ (巽)
- ☵ (坎)
- ☶ (艮)
- ☷ (坤)

坤 こん	艮 こん	坎 かん	巽 そん	震 しん	離 り	兌 だ	乾 けん	
地天泰	山天大畜	水天需	風天小畜	雷天大壮	火天大有	沢天夫	乾为天	☰ 乾
地澤臨	山沢損	水沢節	風沢中孚	雷沢无妄	火沢睽	兌為沢	天沢履	☱ 兌
地火明夷	山火賁	水火既濟	風火家人	雷火豐	離為火	沢火革	天火同人	☲ 離
地雷復	山雷頤	水雷屯	風雷益	震為雷	火雷噬嗑	沢雷隨	天雷无妄	☳ 震
地風升	山風蠱	水風井	巽為風	雷風恒	火風鼎	沢風大過	天風姤	☴ 巽
地水師	山水蒙	坎為水	風水渙	雷水解	火水未濟	沢水困	天水訟	☵ 坎
地山謙	艮為山	水山蹇	風山漸	雷山小過	火山旅	沢山咸	天山遯	☶ 艮

上経(乾～謙)			下経(豫～離)		
乾为天	坤为地	水雷屯	泽山咸	雷风恒	天山遯
山水蒙	水天需	天水讼	雷天大壮	火地晋	地火明夷
地水师	水地比	风天小畜	风火家人	火泽睽	水山蹇
天泽履	地天泰	天地否	雷水解	山泽损	风雷益
天火同人	火天大有	地山谦	泽天夫	天风姤	泽地萃
雷地豫	泽雷随	山风蛊	地风升	泽水困	水风井
地泽临	风地观	火雷噬嗑	泽火革	火风鼎	震为雷
山火贲	山地剥	地雷复	艮为山	风山渐	雷泽无妄
天雷无妄	山天大畜	山雷颐	雷火丰	火山旅	巽为风
泽风大过	坎为水	离为火	兑为泽	风水涣	水泽节
			风泽中孚	雷山小过	水火既济
			火水未济		



乾下乾上 乾为天(けんいてん)

彖に曰く、大いなるかな乾元、万物資りて始む。すなわち天を統ぶ。雲行き雨施し、品物形を流く。大いに終始を明らかにし、六位時に成る。

時に六龍に乗り、もって天を御す。乾道変化して、おのこの性命を正しくし、大和を保持するは、すなわち利貞なり。庶物に首出して、万国ことごとく寧し。

君子は成徳をもって行ないを為し、日にこれを行ないに見わすべきなり。潜の言たる、隠れていまだ見われず、行ないていまだ成らざるなり。ここをもって君子は用いざるなり。

君子は学もってこれを聚め、問をもってこれを辨ち、寛をもってこれに居り、仁をもってこれを行なう。易に曰く、見龍田に在り、大人を見るに利ろしとは、君徳あるなり。

九三は重剛にして中ならず。上は天に在らず、下は田に在らず。故に乾乾す。その時に困りて {心|易} する。危うしといえども咎なきなり。

九四は重剛にして中ならず。上は天に在らず、下は田に在らず、中は人に在らず。故にこれを或す。これを或すとは、これを疑うなり。故に咎なきなり。

それ大人は、天地とその徳を合わせ、日月とその明を合わせ、四時とその序を合わせ、鬼神とその吉凶を合わす。天に先だちて天違わず、天に後れて天の時を奉ず。天すら且つ違わず、しかるをいわんや人をおいてをや、いわんや鬼神においてをや。

亢の言たる、進を知って退くを知らず、存するを知って亡ぶを知らず、得るを知って喪うを知らざるなり。それただ聖人か。進退存亡を知って、その正を失わざる者は、それただ聖人か。

58. 易経とは変化を読み解く知恵

* 積善の家には必ず余慶あり

* 霜を履んで堅氷に至る。

(必ず予兆がある。)

* 君子以て事を作するには始めに謀る

* 窮すれば即ち変じ、変ずれば即ち通ず

* 陰を見て良く止まる知なるかな

* 君子豹変す、小人面を革む

(表面的な変化しかできず、
本質的な変化を恐れる。)

* 善を積まざれば、以て名を成すに足らず。

悪の積まなければ以て身を滅ぼすに足らず

* 聖人南面して天下を聴き、明に嚮いて治む。

(明治の由来)

* 言語を慎み、飲食を節す。

* 虚にして人を受く、(虚心坦懐)

* 善を見て真は即ち遷り、過ちあれば即ち改む。

* 童牛の牯は、元吉なり、(牯が大切)

* 虎視眈々として其の欲逐逐たり、咎无

* 同声は相応じ、同気は相求む。

水は湿に流れ、火は燥に就く。

雲は龍に従い、風は虎に従う。(類は友を呼ぶ)

* 機を知るはそれ神か。(兆しを見る)

* 大いに亨りて以て、正しきは天の道なり。

(大正の由来)

* 節せざるの嗟期は、又た、誰をか咎めん。

(節度ある行動)

* 幾事密ならざる時は即ち害なる。(

秘密漏洩之害)

* 行人の得るは邑人の災いなり。

* 旧徳を食みては貞なれば。厲うけれども

終には吉なり (旧恩を忘れない)

* 進むを知って退くを知らず。

存するを知って亡ぶを知らず

(退くべき時を知る)

易経とは

○四書五経

四書・「論語」「大学」「中庸」「孟子」

五経・「書経」「詩経」「易経」「礼記」「春秋」

○三玄の書・「易経」「老子道德経 (玄學)」「莊子」

○上古三大奇書・「易経」「黄帝内経」「山海経」

○著者・伏羲? 商の時代からの蓄積された卜辞を集めたもの

「ト」動物である亀の甲羅のヒビ

「筮」植物である蓍（メドキ）の茎の本数

○占い術のテキスト

○哲学書・陰陽の 2 元素により森羅万象の
変化法則を解説したもの

○「易」とは、変化・過去・現在・未来への変化流転を表わす

改元と易経

●1300 年以上にわたり、247 の元号があった。

令和は 248 番目

○これまで使われた漢字は 504 文字。

実際に使われた漢字は 72 文字

○最多は「永」29 回。2 位は「元」「天」27 回。

「治」は 21 回。「応」20 回

平成の「平」12 回。「成」は初めて

○出典は「書経」36 回。2 位は「易経」27 回。

○近年以降の元号

平成は 2 回目。大正は 5 回目。明治は 11 回目

落選回数「嘉徳」40 回。「寛安」33 回

○亀は 5 回。霊亀・神亀・宝亀・文亀・元亀

鳥は「朱鳥」「白雉」。植物は無し

●明治の由来「明に向かいて治む」易経

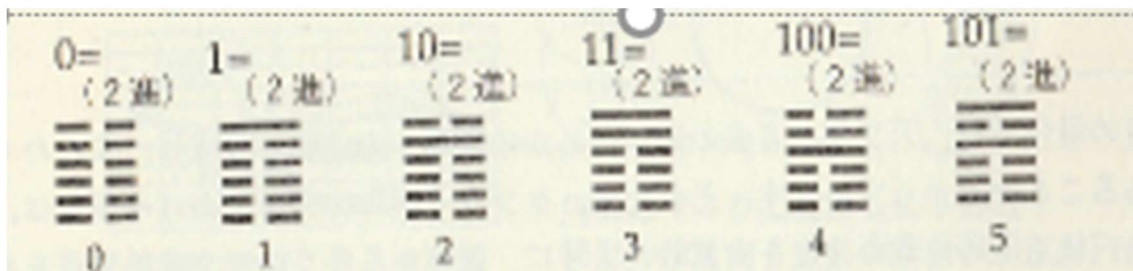
●大正の由来「大いに亨りて以て正しき」易経

●昭和の由来「百姓昭明・協和萬邦」書経

コンピューターの原理の発明者は伏羲

○ライプニッツ・数学者・科学者・哲学者・が 1679 年の論文 *Progressione Dyadica* のなかで 2 進法を最初に提案したことになっているが、『易教』の存在を知った事からだという。○コンピューター原理の発明者は伏羲

○それを継承したのが禹王



58. 東洋の知恵の環境学は【五】がいっぱい

建設省の土木研究所が環境問題の高まりの中で既存の研究部を改組して環境部を作った。其の2代目の環境部長になった。

その時に環境問題の本質は仏教のお経にあることに気が付いた。そこでビジネス社から『東洋の知恵の環境学』と題する図書を出版した。

その心は仏教は宗教ではなく科学であること。

仏教の真髄は五蘊「色受想行識」であること。

仏教の説く万物の根源は五要素地水火風空・五輪である。

そこで「環境五訓」を編み出した。

東洋の知恵の環境学 環境と風土を考える新しい視点 地球にやさしい仏教の哲学！

竹林征三

仏教は宗教に非ず科学だ

● 仏教の心髄は五蘊
色受想行識

● 仏教の説く
萬物の根源・五要素

5element's

地水火風空

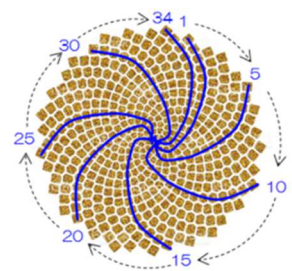
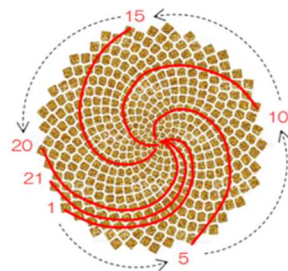
● 環境の本質は
「環境五訓」



59. 神様の作品は美がいっぱい

ヒマワリの

華の中心部は一番種を
沢山保有できる並びは
フィボナッチ数列の並
びであった。



松ぼっくりの種の配列もフィ
ボナッチ数列の並びになっ
ている。一番小さな表面積に



松ぼっくり



オウムガイ

きるだけ多くの種を保有する配列はフィボナッチ数列の並びであった。

オウムガイの各室はどのようにこのような形になっているのでしょうか。実はオウムガイは成長過程で一切無駄を作らないようにするにはフィボナッチ数列の並び

になるのです。

サボテンの果肉を守るトゲはサボテンの立体を一番少ないトゲで一番合理的に配置しようとすればフィボナッチ数列の配列になるのです。大自然は無駄を作らない事を希求している。大自然は美学を求めている。そうするとフィボナッチ数列になる。すなわち数字の五に秘められた。真実なのです。五行を究めるとは大自然の真実を究める事なのです。



サボテンとフィボナッチ...
supersabotentime.com



自然の不思議で美しい法則、フ...
hachi.work

大自然の営みは神様の作品であるからです。

総目次検索

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. はじめに | 8. 太極と陰陽二元 |
| 2. 伊勢流五行と風土工学の対比 | 9. 真善美の構造 |
| 3. 禹王は亀の甲羅から悟ったという | 10. 美とは何か漢字による類似の概念 |
| 4. 亀甲から八卦配当・魔法陣 | 11. 汚い人・醜い人・美醜の構造 |
| 5. 正五角形の簡単な作図法 | 12. ものづくり・用強美 |
| 6. 木火土金水と陰陽五行説 | 13. 正五角形の不思議・五芒星 |
| 7. 易とは自然の理学。発見者は伏羲 | 14. フィボナッチ数列と五との関係 |

15. 天地創造の力・五
16. 屏風絵に見る巧みな図面構成
17. 日本の美
18. 身体・部位の左右
19. 美の5要素
20. シンメトリーの美
21. プロポーションの美
22. 比率の美
23. 美の心は？（その1）平面
24. 美の心は？（その2）立体
25. 池坊と未生流
26. 美の演出・三定理
27. バランスとリズム
 - ・水平基調と垂直基調
28. リピテーション繰り返しの美学
29. 最高の美のデザイン
 - ・アイデンティティの演出
30. コンポジション・金剛界と胎蔵界
31. 被写体の構造
32. 曼荼羅とは
33. 文様の文化
34. 左右微妙にずらす文化
35. 繰り返しの美学・REPEATATION
36. グラディエーションの美
37. プログレション・級数展開の美学
38. ミツバチの巣と柱状節理
39. 不思議を解き明かす鍵
40. プラトンの多面体
41. プラトンの神聖幾何学
42. プラトンの発見と叡尊の五輪塔
43. 野球ボールとサッカーボール
44. 地球を覆う14の巨大プレート
45. 仏教と自然科学
46. 改めて風土工学とは
47. NATURE は自然に非ず。
東洋の知恵
48. 自己と他者の4つの窓と
アイデンティティ
49. 良好風土をデザインするということとは
50. 風土工学の構造設計と鳴鹿大堰
51. 風土工学・絵本の創作・
52. 科学とは
53. 科学とは科学の大欠点
54. 戦争のためと平和のための
科学技術は同じ
55. 吉野裕子氏の異端の知恵
・易と五行
56. 禹から伊勢五行までの系譜
57. 八卦とは
58. 易経は変化を読み解く
先人の深い知恵
59. 東洋の知恵の環境学は【五】
が一杯
60. 神様の作品は美が一杯